

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION



社団  
法人 長崎青年協会

社団法人

# 長崎青年協会憲章

我々は会員の團結と

相互扶助の精神の基に

自己の建設と

会員の親睦を図り

もつて地域社会の発展に

寄与する事を目的とする

---

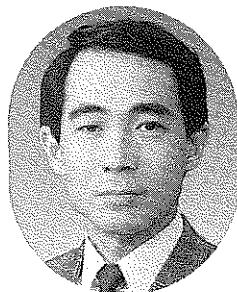
## 目 次

---

### 協会憲章

|             |            |    |
|-------------|------------|----|
| 発刊のことば      | 会長 江村大洋    | 1  |
| 祝辭          | 長崎県知事 高田 勇 | 2  |
| おめでとう創立20周年 | 長崎市長 本島 等  | 3  |
| 協会のあゆみ      |            | 5  |
| 20周年記念特別対談  |            | 36 |
| 同好会紹介       |            | 40 |
| 名簿          |            | 43 |

# 発刊のことば



社団法人 長崎青年協会

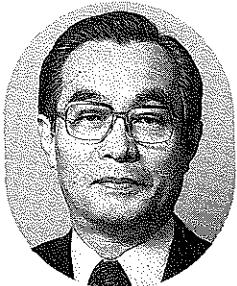
会長 江 村 大 洋

日頃から私達(社)長崎青年協会の活動に、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今日20周年記念誌の発刊にあたり、青年協会を代表してご挨拶申し上げます。

昭和44年3月、会員相互が自己の建設と親睦を図りながら、色々な実践活動を通じて少しでも地域社会の発展に寄与することを目的に、7名のチャーターメンバーでスタートした当協会も、本年20周年を迎えることとなりました。現在では会員数100名、OB数も40名を超える団体に成長し、活発な活動を展開致しております。本年は20周年目ということで「会員の団結と情熱をもって、新しい歴史を創造しよう」をスローガンに、会員一同の結集のもと、さらなる発展を期して事業を推進致しております。青年協会を支えて載いた多くの長崎市民の皆様、関係諸団体の方々の並々ならぬ、ご支援、ご協力にあらためて深く感謝申し上げます。私達は、創立20周年を一つの節目として成人になったという意味で、これまでの協会の歴史を振り返りながら、より地域社会に密着した活動を展開し、国際観光都市長崎の住みよい街づくりに微力ながら努力していく所存でございます。先輩諸兄はじめ、関係諸団体の皆様の今後ますますのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ、発刊のことばと致します。

# 祝　辞



長崎県知事 高田 勇

(社)長崎青年協会が、設立20周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

長崎青年協会には、昭和44年3月に、数名の有志の方で設立されまして以来、福祉活動や文化財清掃などボランティア活動に尽くされ多大の成果を認められましたことは、まことに意義深く衷心より敬意を表するものであります。

また、貴協会は、明るく住みよい街づくりに貢献するため、地域の隅々まで目を向け足を運び市民とともに考え、ともに明日の長崎の発展に向けて行動を起こし、明確な目的のもとに一層の団結をはかり、ローカル性豊かな行動力ある青年団体に脱皮するため、昭和59年3月に長崎青年協会を発展的に解散し、社団法人長崎青年協会を設立されたのであります。

若い世代の人々が、崇高な理想のもとに、会員の団結と相互扶助を図り、地域社会の振興に寄与されることは、まことに喜ばしく力強い限りであります。

63年度におかれましても、20周年記念誌の作成、毎月の例会、広報紙の発行はもとより、年3回の研修活動等さまざまな事業に着手され、「B.S.T.」を合い言葉に地域社会の活性化のため、活発に行動されているのであります。

新しい時代、新しい社会は、皆様のような若い方々の新鮮な感覚と燃える情熱に期待するところ、極めて大きいものがあると申さなければなりません。どうか、皆様には指導力訓練と会員の団結並びに相互扶助の精神を基調として、長崎市を中心とした地域経済の健全なる発展と平和社会の実現のため尽くされ、あわせて関係団体と協調しながら地域の文化、福祉、環境の発展に寄与されますことを念願いたします。

終わりに、(社)長崎青年協会のなお一層の御発展と会員各位の御活躍を祈念しまして、お祝いのことばといたします。

# おめでとう創立20周年



長崎市長 本島 等

(社)長崎青年協会の創立20周年を、心からお祝い申し上げます。昭和44年、設立当時の7人の侍で船出した青年協会が、20歳を迎えた今、107名の盟友を得、力強く活動されていることを大変うれしく思います。

貴協会の20年の歩みをお聞きしますと、文化財の清掃、もちつき大会などのチャリティー事業等、きめ細かな継続活動を展開されており、市民からの皆さんに対する感謝の声と今後の活動への期待の高さを感じます。

また、今年度は、市民ぐるみの“海のフェスティバル”“サマーフェスタ”“留学生のつどい”等にも、積極的に取り組まれ、今までにない貴団体の団結力と力強さを感じます。

さて、長崎は400年の歴史と伝統文化が、街のあちらこちらに息づく魅力ある街です。

皆さんは、その上に立って、近くは「旅」博覧会をにらんでの旅先案内人として、また、新しい長崎を創造する先駆者として、今まで以上に郷土づくりに貢献してほしいと思います。

終わりに、長崎青年協会のますますの御発展と会員各位の御健康を心から祈念し、祝辞いたします。

# 社団法人 長崎青年協会創立20周年記念式典

## 式 次 第

- 1.長崎青年協会会長挨拶
- 2.来賓挨拶
- 3.乾 杯
- 4.創立20周年スライド映写
- 5.長崎青年協会O B会会長挨拶
- 6.アトラクション
- 7.閉会挨拶
- 8.万才三唱

日 時 平成元年3月2日(木曜日)  
午後6時30分

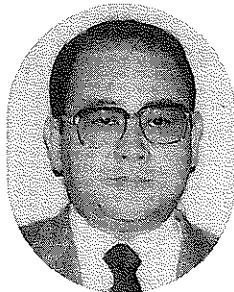
会 場 ホテルニュー長崎 凤凰閣

# 協会のあゆみ

# 初 年 度

昭和44年(1969年)

会員数 21名



会長 小野喜三郎

青年協会設立20周年を迎えた事、我事のように慶ばしく誇りに存じます。記憶が多分に薄れましたが、初代会長として当時のエピソードを一二記述したいと思います。郷土長崎の若人として、地域経済文化の発展に寄与するとの情熱を青春にかけようと同志数名で発足し、夜を徹しての討論を重ねる事数回、本会の目的を定める事を主に討論も去る事ながら、安い酒屋で同志たちと酌交した楽しいひとときが昨日のように思い出されます。創設に大それた目的を述べた感もありますが、先ず「出来る事から」を合い言葉に長崎人として郷土長崎を知ろう、又、協会の主旨を真に理解賛同して頂く新たな同志への働き掛けを計画。事むずかしく考えてもなかなか効果は上がらぬものと何かイベントを実施したらどうかと言うことで、ダンスパーティー、海水浴、納涼船、ソフトボール大会等で会員の親睦も含めてPRし、特に納涼船の企画では予想の倍の乗船率となり、大盛況を見ました。特記すべきは昭和44年、本県において開催された第24回国体秋季大会で岩手県出の選手を各会場の宿舎より送迎を手助けした事でありました。協会員には多忙にもかかわらず昼夜の隔りなくマイカーを持ちより会期中選手、役員に張りつけて奉仕しました。この事は地元新聞岩手日報に、見えざる国体運営者として賛美の記事で報じられました。国体終了後、感謝状並びに特産のリンゴ2箱を受け、会員皆で笑みしたすっぱいリンゴの味は今でも忘れられません。最後に青年協会の今後益々の活躍を期待してやみません。

## 役 員 紹 介

|       |          |
|-------|----------|
| 会 長   | 小 野 喜三郎  |
| 副 会 長 | 野 村 和 夫  |
| "     | 三 浦 勝 太  |
| 理 事   | 久 保 征 幸  |
| "     | ウォーカーデニス |
| "     | 永 島 正 道  |
| "     | 原 口 貞 敏  |
| "     | 山 下 新太郎  |
| "     | 羽 田 健 輔  |

## ス ロ ー ガ ン

「郷土長崎を知ろう」

## 主 な 事 業

|       |  |
|-------|--|
| 10月   | 長崎国体参加の岩手県役員団に協会各員の乗用車4台（会員の運転にて2日間）提供し、感謝される。 |
|       | 郷土史研究会   |
|       | 政治経済研究会 発足                                     |
| ☆ 11月 | 第24回国民体育大会長崎市実行委員会より感謝状。                       |

## 第2年度

昭和45年(1970年)

会員数 48名 (うち女性会員11名)



会長 三浦 勝太

青年協会が発足して2年目の会長として、重大な責務を課された私は、まず例会に於けるテーマとして「長崎の経済を知ろう」という事で講師をお呼びして勉強することを初めました。事業としては、チャリティーダンスパーティー、ソ連ボリショイサーカスの長崎公演に子供達を無料招待、会員の交流としてマイクロバスでの雲仙日帰り旅行等、又、第1回の長崎県青年の船が企画され市内の多くの青年の参加があり、当協会からも5名が参加しました。私も会長として、選考試験に全員が合格するように色々な方にお願いした事、市内の多くの青年団体との交流促進の為に数名の団体代表者と会合、この年に女性会員が誕生し例会が楽しくなり協会の機関誌を初めて発刊した事等、色々苦労した事。今思えばなつかしく、又、楽しい日々でした。総体的には、各会員に同年代が多く20代後半で元気もあり、特に自己主張が強く何事を行うにしてもスンナリと決まる事はなく、反対意見も強く内部調整に頭の痛い時期でもありました。現在の委員会制度も徹底してなく、例会の場での意見発表等なかなかまとまらず激論を戦わせたものである。しかしここ一番という時は会員の团结は強くまとまったものである。会員同志でよく飲んだり、麻雀をしたり、スナックに集まり酒を飲みながら仕事や人生感等よく話し合ったものです。

現在の青年協会を考える時、例会内容、事業内容共に充実し年度毎に発展している事は全会員が認めるところであろう。しかし設立時より当協会の歩みを体験してきた私個人としては現在の協会に何か不足している物を感じる時があります。それが何であるか協会の将来を思う時、色々な意味で強い青年協会になる為にこれからも私自身微力を尽したいと思います。

### 役員紹介

|     |       |
|-----|-------|
| 会長  | 三浦 勝太 |
| 副会長 | 久保征幸  |
| "   | 永島正道  |
| 理事  | 陳 富美子 |
| "   | 中村敏男  |
| "   | 池本敏典  |
| "   | 野村和夫  |
| "   | 平野晴一  |
| "   | 高野一広  |

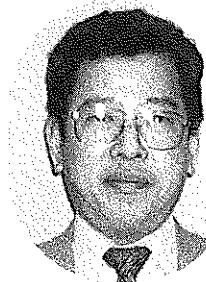
### 主な事業

|     |                           |
|-----|---------------------------|
| 3月  | 長崎開港400年記念チャリティーダンスパーティ開催 |
| 6月  | ボーリング大会開催                 |
| 7月  | 「青年の船」に5名参加               |
| 8月  | 夏季レクリエーション<br>(川原海水浴場にて)  |
| 10月 | ボリショイサーカスに施設の子供達を招待       |

## 第3年度

昭和46年(1971年)

会員数 55名 (うち女性会員13名)



会長 永島 正道

創立当初よりこれまで幾多の苦難を乗り越え立派な協会に育てていただきいた会員の皆さん、そしてOBの皆さんに敬意を表します。

長崎の青年として何か郷土長崎の発展に力を尽くしたいと、当時20代の若さあふれる青年の気概をもって設立されました。当初は五里霧中、試行錯誤の繰り返しでしたが、第1年度の長崎国体の折、奉仕活動に参加したことは、会員相互の絆を強めただけでなく長崎青年協会の存在を外部に向かって知らじめた第一歩であり、今日の協会の礎となつた歴史的事業だったと今も思っています。1年後、2年後、着実に発展、強化された協会を3年度会長として受け継ぎました。先のお二人の会長が残された輝かしい業績を思うとき非力の私として何ができるのか不安で一杯でした。そこで役員、会員が一丸となって協会をもりたてていただくため、会員全員が運営にタッチできるように一部組織を改正しました。

今日の協会が委員会制で運営されているのを知り、皆さんに温め花を咲かせていただいたのだなあと嬉しく思っています。任期中、最大のイベントは何と言ってもあの世界的ギター奏者のナルシーソ・イエペス氏を招いての演奏会であります。多数の方々のご協力で開催させて載いたことは、今でも感謝の気持ちを忘れることが出来ません。今思うと会長として何が出来たのかと、反省しながらこの稿を書かせていただきました。情熱、対話、挑戦を合い言葉に、これからも益々発展されることを心からお祈りいたします。

### 役員紹介

|      |       |
|------|-------|
| 会長   | 永島 正道 |
| 副会長  | 池本 敏典 |
| 総務部長 | 中村 敏男 |
| 財政部長 | 平野 晴一 |
| 事業部長 | 高野 一広 |
| 厚生部長 | 太田 勝良 |
| 広報部長 | 齊藤 春美 |
| 調査部長 | 宮路 忠晴 |

### スローガン

- ・情熱 (常に情熱を燃やそう)
- ・挑戦 (常に挑戦者であろう)
- ・対話 (常に話し合おう)

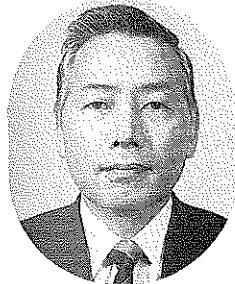
### 主な事業

5月 ナルシーソ・イエペス ギター独奏会  
主催

# 第4年度

昭和47年(1972年)

会員数 28名



会長 久保 征幸

当時20才代の長崎在住の若者が、銅座の街で飲み明していた頃、いつしか仲間として酒をくみかわし、語りあうようになり、これから時代を背負う青年になるには、今、我々は若者らしく希望をもって、何か郷土の為に役に立ちたい。そして、我々自身も人格の向上を計りたい。その為に何かやらなくてはと思い、若者7名でとりくんだのがはじまりです。連日発足に向けて、会則等議論を重ね、名称を「長崎青年協会」とし、協会憲章を基に30名ほどの会員でスタートしました。

外部からすぐ解散するだろと言われておりましたが、会員の団結と努力で、一歩一歩の積み重ねで、幾多の危機を乗り切りながら、当協会が本年20年という大きな歴史を築いた事に、創立メンバーの一人として感激しております。私の人生の半分は、当協会にお世話になり、先輩後輩の諸兄より受けた、教訓・体験が現在の私にとって大きな支えであります。人と人の出会いがいかに大切かと痛感する次第です。

人生七転び八起きといいます。失敗を教訓にして、すぐたち直る強い若者であってほしいと思います。又、社会・職場・家庭において、男らしい力強いリーダーシップが發揮できるよう、協会活動で学んで下さい。今後ますますの御活躍を期待いたします。

## 役 員 紹 介

|             |         |
|-------------|---------|
| 会 長         | 久 保 征 幸 |
| 副 会 長       | 池 本 敏 典 |
| "           | 平 野 晴 一 |
| 涉 外 部 長     | 三 浦 勝 太 |
| 例 会 部 長     | 野 村 和 夫 |
| 会 員 拡 大 部 長 | 宮 路 忠 晴 |
| 厚 生 部 長     | 永 島 正 道 |
| 広 報 部 長     | 藏 坐 紘 一 |
| 財 務 部 長     | 金 子 卓 司 |

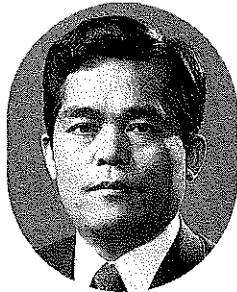
## 主 な 事 業

|     |                                      |
|-----|--------------------------------------|
| 4月  | 青年協会ハタ揚げ大会                           |
| 7月  | 佐賀県松浦郡呼子町へ旅行                         |
| 9月  | 文化財清掃「高島秋帆」「西川如見」「薬師寺」「後藤」           |
| 10月 | 「愛の募金活動」に参加                          |
| 11月 | 清掃箇所へ説明案内板寄贈<br>☆ 今年度より「文化財を守ろう」運動展開 |

## 第5年度

昭和48年(1973年)

会員数 31名



会長 池本 敏典

あれから、もう15年も過ぎたのかな！と月日の経つのが、今更のように改めて感じてなりません。私は久保四代目会長の後を受けて、当協会の御世話役をさせて頂いた訳であります。当時の会員は、これまでの仲間内が中心でその中には女性会員も居りましたが、私の代になりますして、これまでの仲間内の会員から、どうしようかと言う、過度期にあったのではなかろうかと思われた時期で御座居ました。それで当協会の在り方を巡り種々の論議がなされ、その結果として、広く門戸を開き会員を求めよう、その為に組織の改革をしたのではなかつたかと思うのであります。

いずれにしても、仲間内の遊びの会から、社会的目的を持つような会になり始めた時期に会長をさせて頂いたことが、私にとっても良い勉強をさせて頂いたなど、今では感謝の気持で一杯です。後輩の諸君、当協会は利益団体ではありません。社会の中でまさしく志を同じくする同世代の若者が、仲間達と酒を飲み、遊びを通して自分自身を修練するグループである。その為に出来るだけ出席をし、仲間達の生きざまを知る事が、自分自身の為であると言う事を申し上げたい。協会の発展は、会員個々の発展がもたらすものであることを申し上げ、私のメッセージと致します。

### 役 員 紹 介

|                  |   |                       |
|------------------|---|-----------------------|
| 会<br>副<br>会<br>長 | 長 | 池<br>本<br>敏<br>典      |
| "                | 長 | 金<br>子<br>原<br>二<br>郎 |
| 総<br>務<br>部<br>長 | 長 | 藏<br>坐<br>絢<br>一      |
| 財<br>務<br>部<br>長 | 長 | 坂<br>谷<br>善<br>衛      |
| 例<br>会<br>部<br>長 | 長 | 村<br>山<br>昇<br>良      |
| 会<br>員<br>部<br>長 | 長 | 太<br>田<br>勝<br>幸      |
| 事<br>業<br>部<br>長 | 長 | 久<br>保<br>征<br>郎      |
| 広<br>報<br>部<br>長 | 長 | 川<br>添<br>吾           |
| 監<br>査<br>役      | 役 | 高<br>野<br>一<br>晴      |
| "                |   | 平<br>野<br>一<br>子      |
|                  |   | 金<br>卓<br>司           |

### 主 な 事 業

|    |                         |
|----|-------------------------|
| 1月 | 福江市久賀島大火の救援活動           |
| 2月 | 定期例会 臨時総会               |
| "  | 2月定期例会                  |
| 3月 | 第4回青年協会ボーリング大会          |
| "  | 3月定期例会                  |
|    | 3分間スピーチ始まる              |
| 4月 | 明星園の子供達50名 稲佐山ハタ揚げ大会に招待 |
|    | ☆ 文化財清掃奉仕活動継続           |

# 第6年度

昭和49年(1974年)

会員数 50名



会長 金子原二郎

私が、当協会の会長という大役をお引き受けしましたのは、設立して6年目にあたる今から14年も前のことでした。就任して、協会組織を部制から委員会制に再編成し、合理的な協会運営を図ることや、施設の子供達をプールに招待するなどの社会活動を行いましたが、なかでも、協会設立6周年記念として、東京から東千代之介劇団総勢20名をお招きして、長崎敬老観劇会を開催したことは、今でも心に残る思い出であります。

当時は戦後核家族化による、長老軽視の風潮があることを反省し、老人福祉の充実による地域社会の発展を訴え、若者と老人の断絶を少しでも解消するために、敬老月間の催し物として観劇会を企画致しました。

この一大イベントは、市内のお年寄り7200名を、長崎市公会堂での観劇会に無料でご招待するというもので、各方面から大きな反響を呼び起きました。明るい楽しい長崎の街づくりのために、当協会の会長として就任し、このような形で地域社会貢献に少しでもお役に立てる機会を得たことに感謝致しますとともに、皆様におかれましても、協会の一員として今後益々積極的な社会参加を通じて研鑽に努められ、協会の尚一層の団結と発展を築かれますことをOBの1人として期待申し上げ、会員各位のご健勝を心より祈念致します。

## 役員紹介

|         |       |
|---------|-------|
| 会長      | 金子原二郎 |
| 事業担当副会長 | 久保征幸  |
| 総務担当副会長 | 高野一広  |
| 総務委員長   | 高野一広  |
| 例会委員長   | 川添吾郎  |
| 事業委員長   | 鳥居直記  |
| 企画委員長   | 野村和夫  |
| 会員委員長   | 的野和男  |
| 監事      | 池本敏典  |

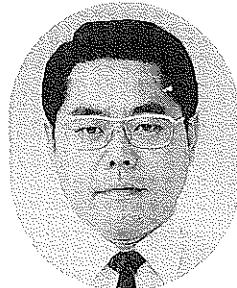
## 主な事業

|     |                  |
|-----|------------------|
| 9月  | 長崎敬老観劇会(東千代之介一座) |
|     | 市内の老人7,200名無料招待  |
| 11月 | 文化財清掃            |
| 12月 | 日見やすらぎ荘にてもちつき大会  |

第7年度

昭和50年(1975年)

会員数 54名



会長 平野 晴一

私は協会創立よりの会員として、卒業する迄「例会」に「事業」にと、殆んど欠席することなく参加出来たのは、協会と己の一体感を肌で感じ続けていたからだと思います。昭和50年、7年目の会長の時の思い出を言うことですが、思い出すには余りにも長い歳月が流れたようです。

当時は現在の様に事務局が無く「会長宅=事務局」のもち回りでした。現在の会報誌のはしりとも言うべき今日のワープロでなくタイプで打った例会誌を毎月発行しました。第2に創立以来7年目にして、初めて会員夫人を紹介方々協会について理解して頂く為に、会員と御夫人との交流を深めるべく家族懇親例会を実行しました。3番目に、協会の継続事業であります。「文化財清掃」に对外的に参加協力をお願いする事で事業の拡大と協会 P.R.を考え、各公私立高校、自治会会长宅を訪問し、協力依頼の結果、高校生、自治会、一般市民までの参加を得る事が出来ました。又、新たに3ヶ所清掃場所を加え意義ある事業でした。例会は郷土長崎をもっと知ろうという事で1年間の統一テーマ「郷土長崎を知る」のもとに研修を行い、長崎の味を知るという事で作り方も習得しながら食べ歩きました。会長として1年間無事に務める事が出来ましたのも理事を初めとして会員一同の協力のお陰だったと思います。昔も今も同じです。会員の団結と行動力!! 協会のすばらしいところです。会員諸君の益々の前進を期待します。

役 員 紹 介

会 長 平野 晴一  
総務担当副会長 金子 卓司  
事業担当副会長 川添 吾郎  
総務委員長 浜崎 昭  
例会委員長 宮路 忠晴  
事業委員長 的野 和男  
会員委員長 高野 一広  
財務委員長 太田 勝良

スローガン

「郷土長崎を知る」

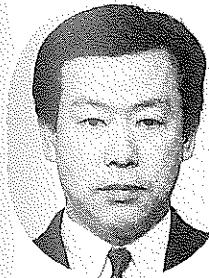
主な事業

8月 明星園の子供達60名市営プールへ招待  
9月 やすらぎ荘・延命園の老人80名をヘルスセンターへ招待  
11月 文化財清掃  
(会員以外に高校生・自治会・一般市民の協力がある)

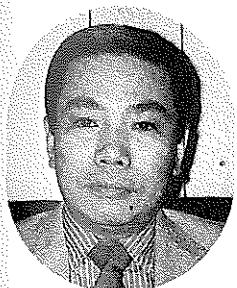
## 第8年度

昭和51年(1976年)

会員数 54名



前期会長 高野 一広



後期会長 宮路 忠晴

第8年度(昭和51年)は、昭和48年後半から49年へかけてのオイルショックの後で、世界経済は勿論、日本経済も全ての物価の高騰により不況の嵐の洗礼を受けている時代でした。そんな悪条件の中を、高野一広会長、浜崎昭、宮路忠晴両副会長でスタート。執行部の若返りによる新風が期待される年でした。

毎月の例会のほかに、6月12日(土)市民会館文化ホールに於て、青年協会主催、長崎新聞社後援にて山口修ギターリサイタルを開催。そしてその収益金を長崎県社会福祉課に寄附致しました。

年度後半は宮路忠晴会長に変わり、敬老の日に老人ホームへあんま器3台を寄贈。又継続事業である文化財清掃も、官梅家、高木家、唐僧墓地が加わり新しい展開となりました。12月には開成学園にて、餅つき大会を開催。子供達と協会メンバーの協力ですばらしい事業と成りました。

### 役員紹介

|         |        |
|---------|--------|
| 会長      | 高野 一広  |
| 総務担当副会長 | 浜崎 昭   |
| 事業担当副会長 | 宮路 忠晴  |
| 会員委員長   | 太田 勝良  |
| 例会委員長   | 井川 寅太郎 |
| 総務委員長   | 竹中 悟   |
| 企画委員長   | 坂谷 善衛  |
| 事業委員長   | 平下 喜代次 |
| 職務委員長   | 重石 俊夫  |

### 主な事業

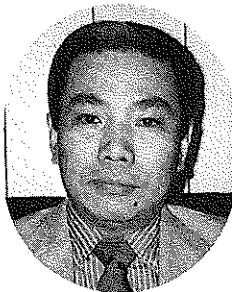
6月 山口修ギターリサイタル  
(長崎市民会館文化ホール)

11月 文化財清掃  
12月 開成学園にてもちつき大会

# 第9年度

昭和52年(1977年)

会員数 54名



会長 宮路 忠晴

昭和52年度の活動につきましては、時の宮路忠晴会長の下に、私も事業担当副会長を務めさせて頂いたわけですが、協会も9年目を迎える運営面では、幾分安定してきた時期がありました。それ迄の協会活動の主な傾向としては、福祉との取り組みという事もあり、会長以下理事で協議した結果、その流れを踏襲し、従来の福祉施設との係わりをさらに深めようという事を確認し、開成学園の子供達との懇親野球大会、同もちつき大会、明星学園へのスポーツ用品寄贈、市内各老人ホーム、独居老人の方々に総数4,000本のタオル寄贈、といった事業を行いました。中でも思い出に残るのは、開成学園との野球大会ですが、同チームは施設の全国大会で数度の優勝の実績を持つ強豪チームです。我が協会チームは辛くも、おえなく逃げ切るといった展開でした。家庭の愛情に恵まれない学園の子供達ですが、会員との野球大会でのはつらつとしたプレー、生き生きとしたその瞳は、その後皆で食べた、つきたての餅の味と共に今も忘れる事が出来ません。その他、協会在籍15年の間にその活動を通じ、貴重な数々の体験勉強をさせて頂きました。この間に私の得たものは、今日迄の私の人生は勿論の事、今後の生活、社会活動に於て何物にも替え難い、大きな糧になるものと確信致します。現役会員の皆様も協会の理念、活動に自信を持って取り組み、その若い情熱を尚一層燃焼させて下さい。20周年をひとつの節目に協会が益々発展されます事を心からお祈り致します。（鳥居直記氏代筆）

## 役員紹介

|         |        |
|---------|--------|
| 会長      | 宮路忠晴   |
| 総務担当副会長 | 宮浜崎直征  |
| 事業担当副会長 | 鳥居幸代   |
| 特別問題無任所 | 久保喜代次  |
| 〃       | 平澤次悟   |
| 監事      | 竹中喜代次悟 |
| 〃       | 三原悟太郎  |
| 総務委員長   | 金浦勝原二郎 |
| 条例委員長   | 金子勝原二郎 |
| 財務委員長   | 川添司郎   |
| 事業委員長   | 木村一巣   |
| 研究委員長   | 石村亮    |
| 研修委員長   | 大庭洋夫   |
| 委員長     | 大和     |

## 主な事業

- 9月 敬老の日に老人ホーム、及び独居老人にタオル4,000本寄贈  
10月 明星学園へ、スポーツ用品寄贈  
11月 文化財清掃（新たに『茂木道無縁塔』）  
12月 開成学園にてもちつき大会、子供達とソフトボール大会
- ☆ 2月 長崎県肢体不自由児(者)父母の会連合会より感謝状。

# 第10年度

昭和53年(1978年)

会員数 75名



会長 三浦 勝太

私は、幸いにも会長を2度経験する事が出来ました。2年度(45年)10年度(53年)と、この2年の中で忘れる事が出来ない事は、協会20年の歴史の中で一度しかなかった会長選挙です。私と永島正道君(3年会長)が立候補し、投票の結果、同票となり再度、決戦投票におきまして1票差で私が会長に決定致しました。当時26才だった私にとりまして、その逆の結果であったらおそらく、今の私があったかどうかが疑問であります。協会事業としては「ボリショイサーカス」長崎公演に市内の子供達を無料招待した事、第1回「長崎青年の船」に会員5名が乗船した事等が楽しく思い出されます。又、10年度は、創立10周年と言う事で色々な企画が出されました。事業としては、プロ野球オープン戦に市内の小中学生を招待し「少年野球教室」を開催、10周年チャリティーゴルフを行いその収益金を寄贈、市内老人ホームにあんま器を寄贈、文化財清掃等を行いました。又、会員念願の事務局を設置し、事務局員を常駐させる事が出来ました。今迄は、会長の家を事務局替りにしていましたが、事務局設置後は全て集中管理を行い、理事会、委員会等も、そこで行う様になりました。まだまだ書きたい事が有りますが、そのどれでもが私の人生に多いにプラスに成っている事は否定出来ません。今後も協会と会員個々が、色々な経験を踏み、大きくなっていく事を期待致します。

## 役員紹介

会長  
三浦 勝太  
総務担当副会長  
三井 憲太郎  
事業担当副会長  
平野 一文  
無任所理事  
野本 彦衛  
" 善博  
" 勝田 晴記  
監事  
" 辻義  
" 谷善  
" 坂辺忠  
" 宮路直  
" 島居良  
" 岩木亮  
" 飯島政  
" 木枝明  
" 枝川則  
" 小川朗  
" 保永  
" 久幸

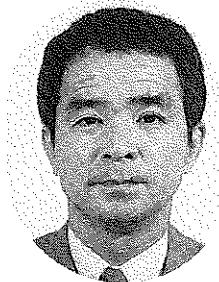
## 主な事業

- 3月 プロ野球オープン戦並び、野球教室に市内小中学生を無料招待  
4月 10周年チャリティーゴルフ開催、収益金 52,000円を寄贈  
市内老人ホームにあんま器 3台寄贈  
11月 文化財清掃  
12月 老人ホームにてもちつき大会  
" 事務局設置(元船町)  
☆ 長崎県明るい社会づくり運動推進協議会より表彰を受ける。

# 第11年度

昭和54年(1979年)

会員数 54名



会長 川添 吾郎

協会卒業後、早くも3年になり、仲間と過したのが昨日のような感じであります。年輪を重ねた者ほど1年が早く感じるそうで、まさにその通りと思う事しきりです。自分の年令を認識しながらこれからも頑張らなくてはならないと、新たに意を決しております。

私が昭和54年、第11年度の会長に就任したのが32才の時でした。現在の会長職の年令と比較すれば、かなり若輩の時でありました。しかし、その当時は決して若いと言う事ではありませんでした。言いかえればメンバー自体が若く、現在の年令別のメンバー構成とかなり相違しておりました。創生期、成長期、成熟期と言った発展過程の特色だったと思っております。その点現在は、かなり違った運営、事業が実行されてる事と思います。

この年始めて、月1回の会報誌が発行され、新たな協会の歴史の1頁を飾りました。現在も継続され、担当委員会の苦労は大変だと推察しておりますが、最初に手がけると言う事も更に大変な事ではなかったかと思います。毎年々充実していく会報誌を拝見しておりますと、感慨深いものがあります。今後益々の充実を祈念致しております。10周年記念事業のあとでもあり、軽微な事業を行い、主に内部充実について努力を致しました。この年に、今迄の私共の事業が認められ、長崎市より感謝状を受け対外的に認められた年でもありました。

永い在籍をふりかえれば、いろんな事が思い浮かびますが、私が会長を経験できたのも、会員の友情と協力の賜物と感謝をしております。又、積極的にいろんな活動に参加した事が信任を得たものと確信をしております。現会員の皆様も何事にも参加し、自己研鑽、自己建設に邁進されん事を希望しております。協会の今後、益々の発展を心より祈念致します。

## 主な事業

1月 定時総会

9月 新人研修セミナー

4月 会員懇親会

〃 臨時総会

6月 チャリティーダンスパーティ

11月 文化財清掃

〃 家族懇親会

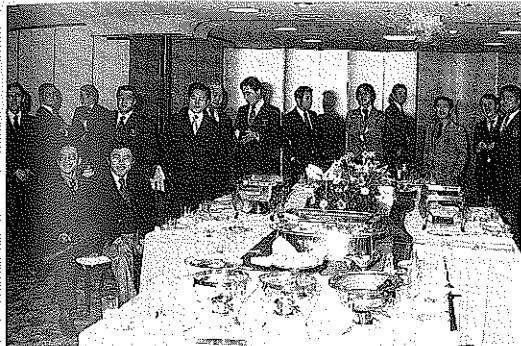
〃 チャリティーバザー

8月 愛の街づくり実行委員会

12月 もちつき大会 (女ノ都山荘)

☆ 長崎市より文化財清掃・福祉活動に対して感謝状。

# 活動風景



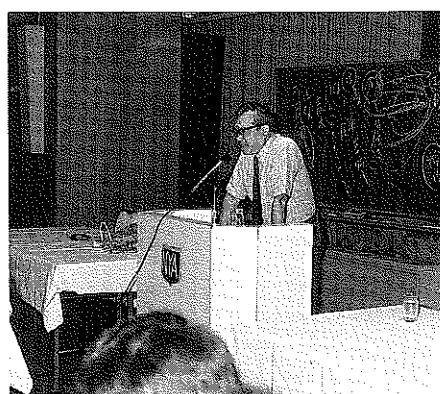
新年 定時総会（1月）



次年度会長投票風景

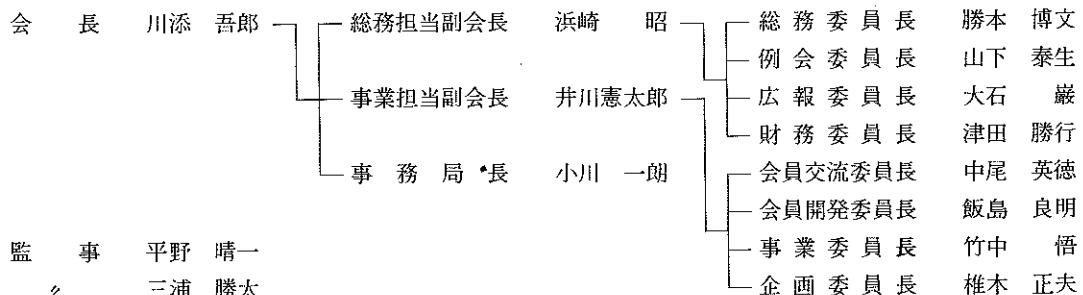


チャリティーダンスパーティー



くんち講演（越中氏）

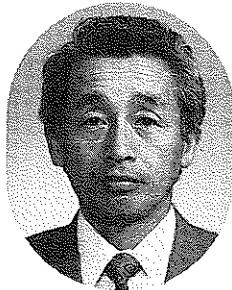
## 役員組織表



# 第12年度

昭和55年(1980年)

会員数 86名



会長 浜崎 昭

私が協会のメンバーになったのは、協会が結成されて3年目くらいだったと思います。丁度その頃、世は断絶の時代といわれ、親子の断絶が問題視されていた時でした。協会でもその問題が取り上げられ、老人と青年との交流が必要ではないのかというので、敬老観劇会という事業を行いました。その当時、会員はまだ50名余りでしたが、全員一丸となって毎日討議をし、事業が成功した時は、私も協会の一員として参加できたことに感激したものでした。特に事業を行うにあたってマニュアル、タイムスケジュールを作成することから始まり、諸問題については会議の席上で納得ゆくまで真剣な討議を行い、目的を達成していくという経験ははじめてのことでしたが、その後組織の中で活動する時にとても役立ちはじめました。私が12年度の会長をさせて頂いた時の事業も、観光都市長崎をゴミがないきれいな街にしようではないかというので「みんなで築こう、きれいな長崎」というキャッチフレーズのもとに各自治会へのゴミ籠配布を行いました。ゴミ籠の管理、あるいは設置場所等、様々な問題がありました。多くの方々のご理解のもとに実施することができました。その後も各自治会へのアンケート調査、追跡調査も行いましたが、観光長崎の為に少しは役立っているように思います。この様に、協会に入会したことにより職種の違った仲間達と出会い、いろいろな経験を通してより広い視野で物事をとらえることができるようになったと思います。今後、現会員の皆様に期待する事は、若さと情熱と行動力をもって、明日の長崎の推進力となってほしいと思います。

## 主な事業

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| 1月 定時総会、新年懇親会         | 9月 臨時総会、会長選挙                              |
| 6月 家族懇親会              | 11月 「みんなで築こうきれいな長崎」<br>338自治会へ700個ゴミ籠無料配布 |
| 7月 新人研修<br>「立山長崎青年会館」 | 12月 もちつき大会 (女の都山荘)                        |
| 8月 市民大清掃              |   |
| 9月 全体研修 「月光の里」        |   |

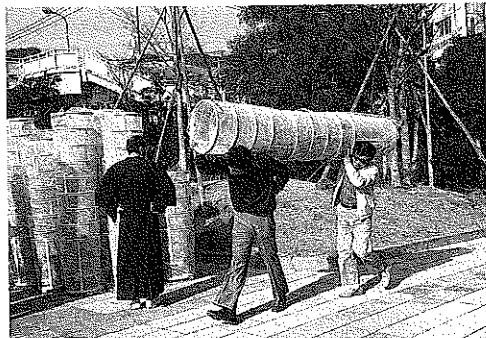
# 活動風景

## 美化は自治会から

長崎青年協会 ちりかご700個贈る



長崎新聞掲載記事より  
長崎青年協会からちりかごを贈ける自治会会員  
一星夜市のある町、市民会館前で



市民会館前広場



ちりかご追跡調査

## チリカゴ作戦スタート

長崎青年協会



長崎青年協会は「ちりかご」の販売促進活動の一環として、一星夜市開催地である長崎市内各所に大型の「ちりかご」を設置する。この「ちりかご」は、長崎市内の主要な商店街や駅前などに設置され、市民の利用を促す。また、この「ちりかご」は、長崎市内の主要な商店街や駅前などに設置され、市民の利用を促す。

長崎青年協会は「ちりかご」の販売促進活動の一環として、一星夜市開催地である長崎市内各所に大型の「ちりかご」を設置する。この「ちりかご」は、長崎市内の主要な商店街や駅前などに設置され、市民の利用を促す。また、この「ちりかご」は、長崎市内の主要な商店街や駅前などに設置され、市民の利用を促す。

長崎新聞掲載記事より

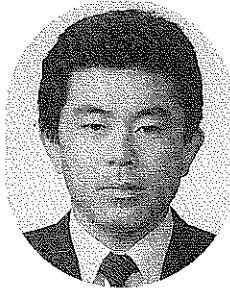
## 役員組織表

|            |               |            |       |
|------------|---------------|------------|-------|
| 会長 浜崎 昭    | 総務担当副会長 勝本 博文 | 長 員 委 員 長  | 国枝 大洋 |
|            | 会員担当副会長 飯島 良明 | 長 員 委 員 長  | 江村 正貴 |
|            | 事業担当副会長 竹中 悟  | 長 員 委 員 長  | 三浦 勝久 |
| 事務局長 金子 寿英 |               | 長 員 委 員 長  | 石山 泰生 |
|            |               | 研修委員会 務員   | 三浦 勝太 |
|            |               | 事業企画委員会 務員 | 高比良利満 |
| 監事 川添 吾郎   |               | 広報委員会 務員   | 太田 勝良 |
| 井川憲太郎      |               |            | 田中 精治 |

# 第13年度

昭和56年(1981年)

会員数 77名



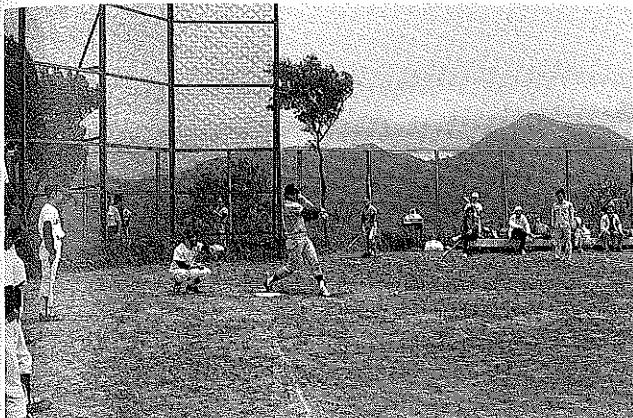
会長 井川憲太郎

10年、15年と節目を迎えた時には、協会在籍時代は新たな希望と反省と決意をもったのですが、協会を卒業、OBとして外部より協会活動を見聞する事が出来た為か在籍中とは違った感じで20周年を迎えております。私が会長を御引き受けした13年目はまだOB会員も少々、大半のチャーターメンバーが在籍中という時期がありました。協会設立時は長崎独自の全国でも例の少ない任意団体であり、上部団体も関連団体もなく、会員各自の自由な発想が發揮できる時期がありました。その自由性には、実行力のある会員の特性を發揮できる良い点があるのに、一貫した活動理念が伴わないというマイナス面ももっていた訳です。13年目の継続事業としては、長崎の歴史的遺産である先駆者方の墓や記念碑を清掃し、市民や観光客に再認識していただく事を目的とした事業。一方、家族等に恵まれない青少年及び老人への奉仕がありました。この2つの柱を基礎として、多年度にわたる地域社会発展の継続事業、及びその時期に即したタイムリー的事業を模索したものがありました。幸いにも私の会長時には独創的なスタッフに恵まれ、長崎の一大イベントであるおくんちの懐かしい夜店やサーカス等を、今の子供達にも味わせる為に「みんなで盛り上げよう長崎くんち」をスローガンとして、市の協力を得て市民会館を使用、インド魔術団を長崎へ招くことが出来た訳です。当日は忘れもしない台風の為、2日間とも大雨で観客が入るか心配しましたが、5,000名近くの入場者があり会員全員が会場設営、ジュース販売、会場警備、案内と燃焼しました。打上げもユニークにサウナを貸切り、本当の裸の付合いにて感激の渦がありました。この紙面にて御協力願った市民の皆様を始め、協力企業各社に心より御礼を申し上げたいと思います。最後になりましたが、今後の会員諸氏の大いなる独自性に期待し、又、協会の特徴を大いに發揮されん事を祈ってやみません。

## 主な事業

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 4月 長崎青年協会ゴルフコンペ | 10月 「みんなで盛り上げよう長崎くんち」 |
| 5月 第1回少年野球教室    | インド魔術団を長崎に招く          |
| 6月 家族懇親室内体育祭    | (市内の老人、福祉施設の          |
| 7月 新人研修セミナー     | 児童1,500名招待)           |
| 8月 長崎市民大清掃参加    | 11月 文化財清掃 (官梅家、高木家など) |
| 9月 全体研修         |                       |

# 活動風景



第1回少年野球教室



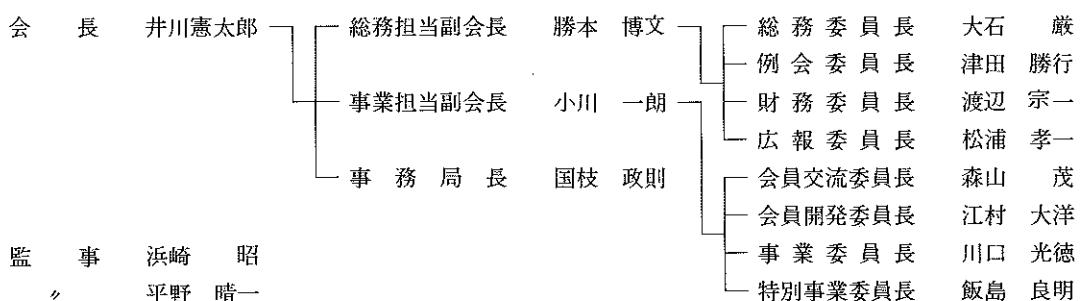
家族懇親室内体育祭



インド魔術団



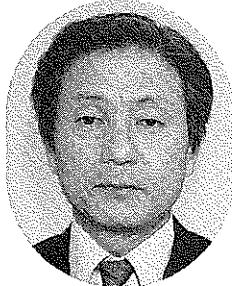
## 役員組織表



# 第14年度

昭和57年(1982年)

会員数 85名



会長 金子 卓司

私が会長を御引き受けした14年度は、前年度の活発な協会から一転して、静かな協会指向となりました。

多分、将来を期して前年の疲労回復に務めたのか、貴重な時間を無為無策に浪費したのか、前者であると自分自身で確信し、今でも時々、勝手に自己弁護してゐる次第です。

特にこの年は想像にもしなかった、7.23長崎大水害があり、協会でも数多くの人が、甚大で様々な被害を受けました。中には、親族の方や最愛の子供さんを亡くされた方もおり、非常に悲しく、又大きな出来事であります。後半の協会活動にも少なからず影響も受けました。

最近思うことは、時は過ぎても協会に席を置いた皆が、全員目に見えない大きな心の糸で結ばれていることを痛感致します。又それぞれの人生を豊かで深いものとする何かが、青年協会にある様な気がしてなりません。20周年を迎えるにあたり、皆様と共に心からお祝い申し上げると共に、江村会長始め会員皆様の御健勝をお祈り致します。長崎青年協会に幸あれ！

## 主な事業

4月 県民の森にて春のレクリエーション

11月 文化財清掃

5月 第2回少年野球教室

(高島秋帆旧宅に記念植樹)

6月 環境週間の一環として

12月 もちつき大会(女ノ都山荘にて)

アキ缶キャンペーンに参加

” 家族懇親会

8月 野母崎の「国民宿舎 亜熱帯」にて

全体研修

■ 7.23 長崎大水害(死者 299名)

スローガン

## 進歩と調和、今、本質を見つめて！



アキ缶キャンペーン



会場を賑わせた  
将来の花嫁さん

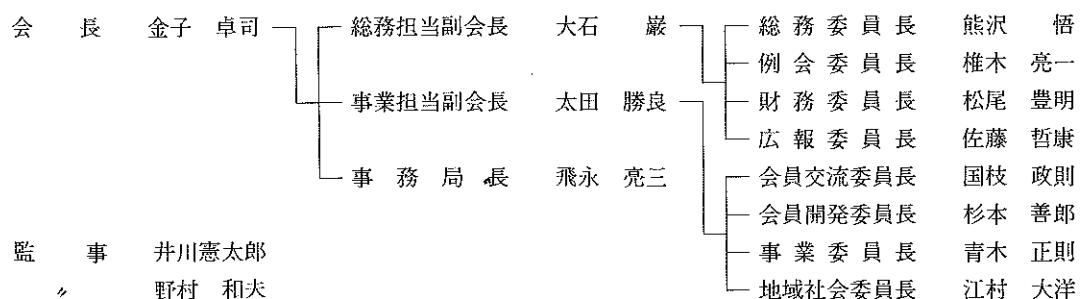


高島秋帆旧宅にて 文化財清掃



もちつき大会（12／5）

### 役員組織表



# 第15年度

昭和58年(1983年)

会員数 77名



会長 勝本 博文

私は当協会を卒業して3年目。現会員の皆様と接する機会はほとんど無くなりましたが、聞くところによると、現在会員数100名を越え、行政を含め数々の諸団体との交流も深められ、立派に社団法人として地位を確立され、発展されているとの事。O Bの1人として誠に感慨無量の気持であります。私が当協会の会長に就任したのが、昭和58年。丁度創立15周年の節目の年でした。当時会員数は80名前後。その年のキャッチフレーズが「今、創立の精神に立ち戻り、英智と実践を持って新しい歴史に挑戦する」という事でした。その言葉が示す様に、その

年は協会の大きな世代交代の年でもあったのです。当協会を創立された、三浦勝太、平野晴一、両先輩に代表されるほとんどのチャーターメンバーの方々が、その前の年に卒業されたのです。残された我々は本当に不安と責任が交錯した厳しい船出であったような気がしました。ですから会長である私自身、満身の力をこめて全ての事に挑戦しようと考え、先程のキャッチフレーズが生れたと思っています。社団法人の取得、15周年記念祝賀会、「みんなで築こうきれいな長崎」の継続事業として市内138自治会に380個のごみ籠配布、長崎大水害の翌年で奇しくも同じ7月山陰大水害がおこり、浜町、新大工町商店街での街頭募金を行い、長崎新聞社協力のもと、50数万円の募金を集め事ができました。事務局の現在地移転、平和推進協会への加盟監事就任、NHK 視聴者会議委員、明社協理事、等々関係諸団体との交流も頻繁に行う事ができました。こうして、あっと言う間の1年でしたが、全会員の協力のもと、新しい歴史に挑戦し、地域社会の発展に寄与した団体として、今日の社団法人長崎青年協会の基礎を造り上げる事が出来たと思っております。

## 主な事業

- |                            |                                   |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1月 明社協理事として新春名刺交換会         | 8月 市民大清掃参加                        |
| 2月 長崎平和推進協会設立総会に参加         | 9月 全体研修会（ヤタロウイン）                  |
| 3月 北方領土返還要求県民会議パレードに<br>参加 | 11月 文化財清掃・ソフトボール大会<br>" ゴミ籠380個配布 |
| 5月 楽老会より感謝状（女ノ都山荘）         | " 協会15周年記念祝賀会                     |
| 6月 協会運動会（網場水族館）            | 12月 もちつき大会・忘年懇親会<br>（女ノ都山荘）       |
| 7月 新人研修会（グランドホテル）          |                                   |
| " 山陰水害義援金募金活動（521,000円）    |                                   |

☆ 社会福祉法人楽老会より感謝状。

スローガン

今、創立の精神に立ち戻り、英智と実践を持って  
新しい歴史に挑戦する！



山陰水害義援金募金活動



市民大清掃

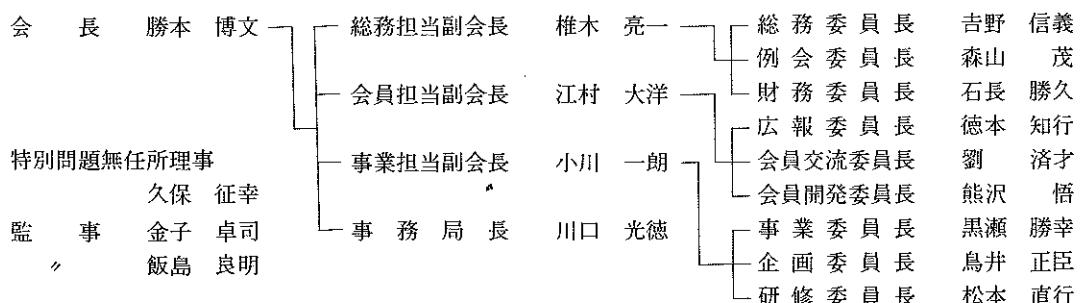


15周年記念祝賀会会長挨拶



〈15周年記念祝賀会〉  
11月21日於ニュー長崎ホテル  
会員の奥様を迎えて

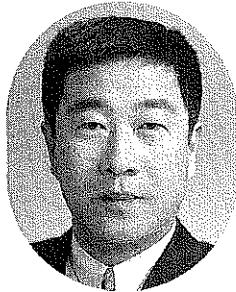
### 役員組織表



# 第16年度

昭和59年(1984年)

会員数 80名



会長 太田 勝良

社団法人になった初代会長として感慨に耐えません。58年度勝本会長時代に15周年を迎えて、多忙の中にも社団法人設立の準備に取りかかり、私の会長の時に実現したのであります。又、私の会長時には初めて、恵美須町瓊の浦公園にて、おくんち広場として屋外に、出店等を試み「くんち共和国」を開催。松本伊代等のゲストの他、長崎くんちに相応し、龍踊り、川船、オランダ万才を招く事ができました。諸団体との交流の際に把握できない問題の備えの為、対外的な接待委員長みたいなものとして、前年度迄の組織（総会、理事会、会長、各委員長）を改革し、直前会長を設けました。これが今も続いています。私の年間テーマは「和と行動」。委員会活動の「和」が協会の「行動」を作るものと思っております。人間はいつの時代にも若い人々にさまざまな期待をかけてきました。若さが持つ強い体力、何ものも恐れない意志、俊敏な頭脳。ややもすれば沈滞しそうとする社会に、それらが新しい力として注ぎこまれてきました。当協会のメンバーは、憲章をもとに、あきらかに1つである目的に賛同した者同志の集まりです。皆様方それぞれの委員会のもとで委員長を助け、各自が本音をもって議論をし、「自己の建設、会員の親睦、地域社会の発展」この3本柱の基で協会活動の真髄をみきわめて、すばらしい大人のトレーニング、社会マナーを身につける場として活動する事が、協会の前進でもあると思います。終わりに、協会の御発展と皆様方の御活躍を祈念致します。

## 主な事業

- |                             |                                  |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 4月 社団法人設立記念パーティー            | 10月 クンチ共和国（瓊の浦公園）                |
| 6月 長崎アーバンルネッサンス会議出席         | “ 長崎県国際青年実行委員会出席                 |
| 7月 チャリティーバザー                | 11月 文化財清掃（高島秋帆旧宅）                |
| 8月 市民大清掃に参加                 | 12月 もちつき大会、忘年懇親会（女ノ都山荘）          |
| “ 協会家族懇親会（ニュー長崎ホテル）         |                                  |
| 9月 チャリティー収益にて老人ホームへカラーテレビ寄贈 | ☆ 5月 長崎市「街を美しくする運動」推進協議会より表彰される。 |

スローガン

# 和と行動

昭和59年度長崎市街を美しくする運動推進協議会通常総会



街を美しくする運動推進協議会表彰

長崎青年協会（太田勝良会長）はチャリティーバザーの益金で購入したカラーテレビ七台を長崎市内の老人ホームに贈ることにし十七日、市役所で贈呈式を行った。

同協議会は市内在住の若手会社員実業家二十一十四歳ら八十二人で組織。例年、市内の文化財清掃や老人ホームでのわづき大会などをしていることは長崎くんちを盛り上げようと「くんち共和国」のイベントも計画。チャリティーバザーはことし七月家庭に眠る引き出物

太田長崎青年協議会長（右）カラーテレビを本島市長に贈呈。やすき荘の高橋克忠所長ら各施設の代表が「おおぞらが喜びます」と礼を述べた。

長崎新聞  
掲載記事より



チャリティーバザー



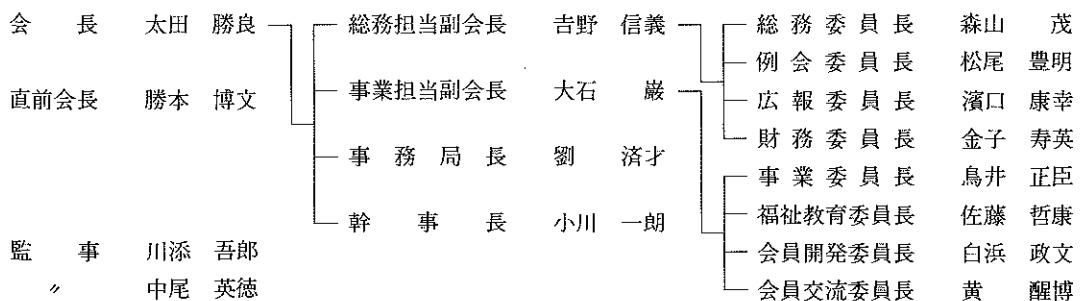
金で購入した十四台のカラーテレビを宿町の市立養護老人ホーム、日見やすらぎ荘など市内の七施設にプレゼントすることにした。

式では太田会長が本島市長に現物一台と六台分の目録を贈呈。やすき荘の高橋克忠所長ら各施設の代表が「おおぞらが喜びます」と礼を述べた。



くんち共和国

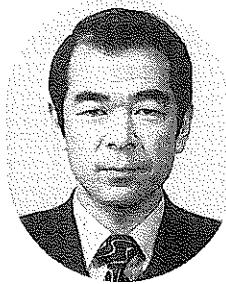
## 役員組織表



# 第17年度

昭和60年(1985年)

会員数 96名



会長 吉野 信義

私は昭和60年に第17代会長として協会在籍の最後の年を迎えて、緊張と気負いを感じていた。時は折しも「国際青年年」国連の提唱により全世界的に青年を中心とした組織が結成され、我々協会にも県、市から協力の要請があり、森山茂副会長を担当役員として「長崎県国際青年年実行委員会」に参加、県内各地の団体と協力して様々な事業に取り組んだのである。それまで16年の協会の歩みを経て、各方面から活動ぶりや行動力を徐々に認められてきた我々協会が、この国際青年年の活動を機に、一気に社会性を確立した年であったと私は思っている。勿論協会独自の事業を中心に取り組んだことは言うまでもない。独自の事業における初期目的の必達と、他の団体組織との協力による事業の推進の2本立ての取り組みにより「地域社会に貢献する」という協会の憲章の一つをより拡大する事ができたと思っている。

さて内部事業におけるメインは「くんち」事業であった。まず最初に着手したのは場所探し。これには先輩会長である川添吾郎君にお世話になり、紆余曲折を経て、現在の江戸町公園となった。出し物は実行委員会の総意でお化け屋敷となり、その他我々の手作りで今の子供たちに昔の面白い遊びを経験させようとアイデアを出し合った結果、出し物規模ともにほぼ現在の姿と同様であったと思う。くんち期間中は子供たちと共に我々も大いに楽しみ、また終了後のあの感動は40才にして思いもよらぬ事であり、独りの力では到底成し得ない仲間の有り難さを痛切に実感させられた。

協会が創立20周年を迎えることが出来たことは特に創立初期に尽力された先輩方々の功績が大きく、我々はまだ敷かれたレールの上を歩いたに過ぎない。ただその過程の中で、何かを成し得た誇りと自信を有り難く思っている。

## 主な事業

|                        |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| 4月 定時総会 (チサン)          | 10月 クンチ広場 (江戸町公園)           |
| 6月 厄入り懇親会              | 11月 文化財清掃 (稻佐外人墓地)、ソフトボール大会 |
| 7月 国際青年年 (IYY) 大清掃参加   | " IYY 国際フェスティバルに参加          |
| " チャリティバザー             | " 臨時総会 (チサン)                |
| 8月 家族懇親会 (祝崎郷三浦海水浴場)   | 12月 もちつき大会 (女ノ都山荘)、忘年懇親会    |
| " 経営セミナー               | 1月 臨時総会 (チサン)               |
| 9月 恵の丘長崎原爆ホームにビデオデッキ寄贈 | 3月 卒業者を送る夕べ                 |
| " 全体研修                 |                             |

スローガン

## 計画は慎重に 行動は果敢に



国際青年年



恵の丘長崎原爆ホーム



文化財清掃  
(稻佐外人墓地)



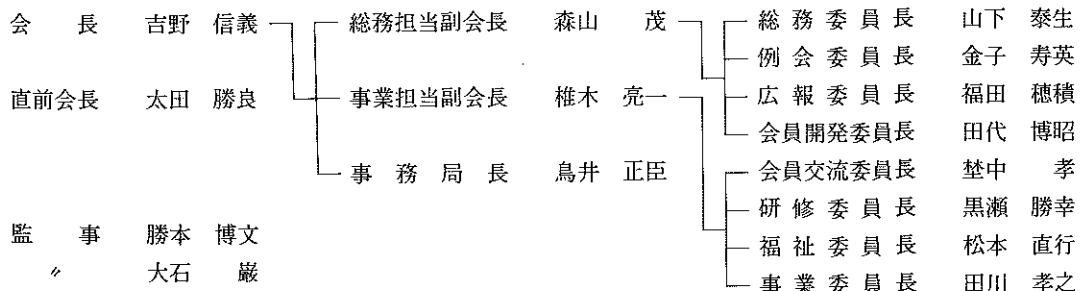
もちつき大会  
(女ノ都山荘)

長崎新聞掲載記事より

### きね音 快く

県内各地で「もちつき」

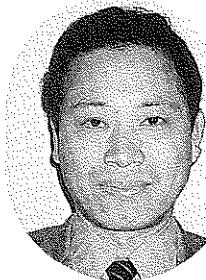
### 役員組織表



# 第18年度

昭和61年(1986年)

会員数 93名



会長 小川 一朗

チャレンジャーの爆発事故、伊豆大島の噴火、切尔ノブイリ原発の事故、そして高島炭坑の閉山等々、この地球上でかなり悲惨な出来事が相次いだ昭和61年、私はまず全会員に、我々協会はこの地域社会においてとにかく明るい話題を提供していくのではないかと提案し、声高らかに第18年度をスタートさせましたが、まさに緊張のうちの会長第一声であったことを昨日の事の様に思い出しております。各事業の中で特に印象に残っているものに、長崎港の清掃ともちつきがあります。港の清掃は、協会のキャッチフレーズ「みんなで築こうきれいな長崎」のもと、長崎市民大清掃と並行して実施しました。会場の元船岸壁には本島市長も出席され、賑やいだ中協会も無事その役割を果たしました。もとはといえばこの事業は、高田県知事を訪問した際協会の事業説明の中で、国際観光都市の港にしてはあまりにも汚れているので今年は港の清掃を手掛けたいと申しましたところ、知事も大いに賛同され逆に知事よりの強い要望となり出来上がった事業でもあったわけです。その時の接見時間は10分と決まっていましたが、話がはずみ約30分近くにもなったことで知事の協会に対する関心と期待を感じました。次にもちつきですが、これは毎年、女の都山荘で実施していましたが、この年初めて長崎の中心街である親和銀行浜町支店の駐車場で行ない、道行く人達にも、もちをついてもらいました。協会のもちつきが初めてTVで取り上げられた年でもありました。事業以外ではJCとのソフトボール親善試合が思い出深いものになっております。互いの垣根を取り払い和気合々のうちに試合が開始されましたが、一つ一つのプレーには気迫がみなぎり、火花の飛び散る名勝負がありました。最後に卒業者に贈るブレザーはこの年より始めました。難産の末の実施でしたが、現在私自身がそれを身に付けてみて、あらためてその意義を大いに感じています。

## 主な事業

- |                       |                             |
|-----------------------|-----------------------------|
| 4月 定時総会（東映イン長崎）       | 12月 チャリティーもちつき大会（親和銀行浜町支店前） |
| 6月 厄入懇親会              | " 忘年懇親会                     |
| 8月 市民大清掃に参加（長崎港）      | 1月 臨時総会（パトリエ21）             |
| " 家族懇親会（雲仙国民休暇村）      | " 新春懇親会                     |
| 9月 全体研修（しんわの森）        | 3月 卒業者を送るタベ                 |
| 10月 おくんちランド           |                             |
| 11月 文化財清掃（小菅 ソロバンドッグ） |                             |
| " 臨時総会（東映イン長崎）        |                             |

スローガン

## 豊かなる創造と先見性 そして友愛



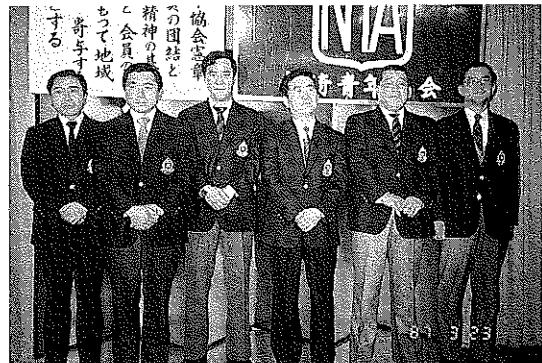
高田県知事を表敬訪問



市民大清掃（長崎港）

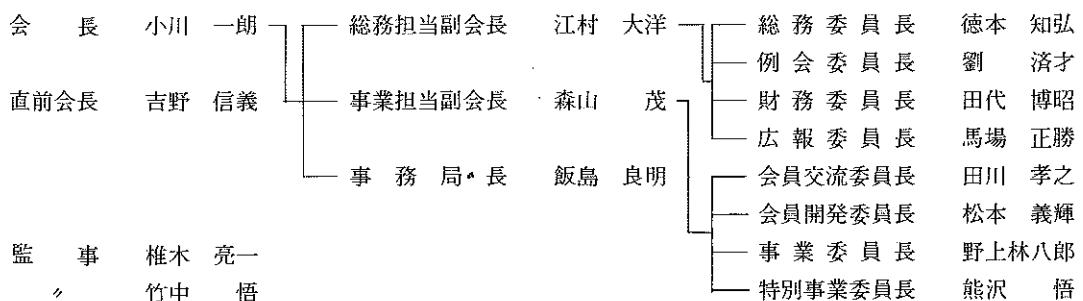


おくんちランド



卒業者を送る夕べ

### 役員組織表



# 第19年度

昭和62年(1987年)

会員数 90名



会長 森山 茂

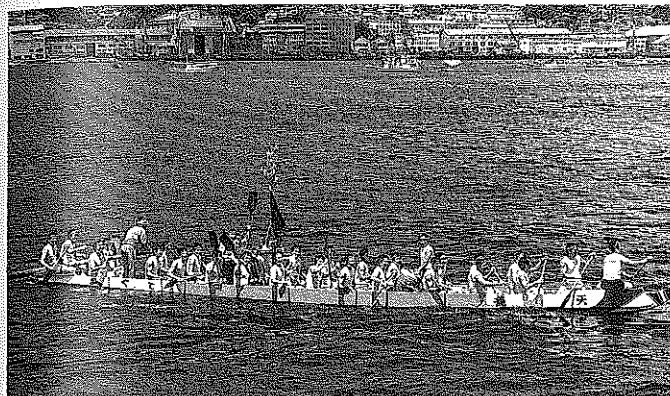
昭和53年に入会して10年間、私と協会とは切っても切れない生活の一部となり、そして第19年度目の会長として大きな経験をさせてもらい忘れる事のできない1年間でありました。2ヶ月ぐらいは会員の意気も上がりず不安なスタートでしたが、夏のイベントの「ながさき海のフェスティバル」への初参加が会員の団結を強めたのは印象的でありました。おくんちで慣れている「お化け屋敷」を中心に出店を配して特に若い会員の熱気とベテラン会員のチームワークがこのイベントを成功させたのではないでしょうか。今年のフェスティバルも昨年の経験を生かして大成功に終ったのはいうまでもありません。特に最終日に行なわれた「職場ペーロン大会」で初めてペーロンを漕いだ会員のファイトは頼もしい限りがありました。こうして夏も終り10月のおくんちへと時は過ぎていきました。従来は7、8、9日の3日間江戸町公園での「ひろば」を開催していましたが、この年前夜祭として施設の子供達を招待しようという計画を実現出来た事は、本当に会員の皆様方の御協力なくしては出来なかった事であります。マリア園、明星園、浦上養育院の子供達と先生方のあの笑顔は今でも忘れる事が出来ません。これからもこの運動だけは続けてほししいと思います。このときの私の思い出といえば、やはりこの「フェスティバル」と「おくんちパーク」ではなかったでしょうか。その他、新人研修や全体研修、ファミリンピックでの「綱引き」や坂本外人墓地の清掃、ミニ研修、老友荘でのもちつき大会、忘年懇親会等もすばらしい思い出がありました。そして「卒業者を送る夕べ」での卒業者の1人1人のスピーチを聞いた時、この協会に入会して本当によかったなどと思ったものであります。最後に言える事は、会長として重責を無事果たせたのは会員の皆様方の力が大きな支えとなって1年間過ごせたという事であります。

## 主な事業

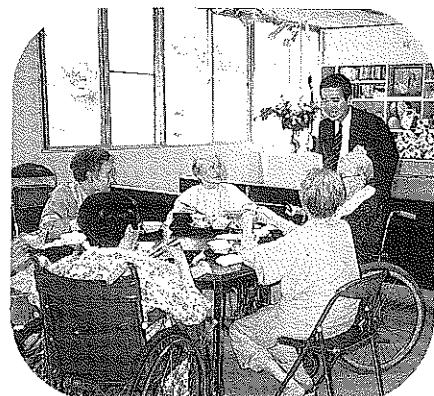
- |                                  |                   |
|----------------------------------|-------------------|
| 4月 定時総会（東映イン長崎）                  | 11月 文化財清掃（坂本外人墓地） |
| 6月 厄入懇親会                         | 〃 臨時総会（長崎東映ホテル）   |
| 7月 ながさき海のフェスティバル                 | 〃 ソフトボール大会        |
| 8月 市民大清掃                         | 12月 もちつき大会（老友荘）   |
| 〃 全体研修                           | 〃 忘年懇親会           |
| 9月 特別養護老人ホーム<br>「長崎の家」1日園長       | 1月 臨時総会（長崎東映ホテル）  |
| 10月 おくんちパーク（6日前夜祭 施設の<br>子供達を招待） | 3月 卒業者を送る夕べ       |
| 〃 ファミリンピック'87に参加                 |                   |

スローガン

## 適確なる判断と勇氣ある行動 そして浪漫



ながさき海のフェスティバル職場ペーロン大会



一日園長

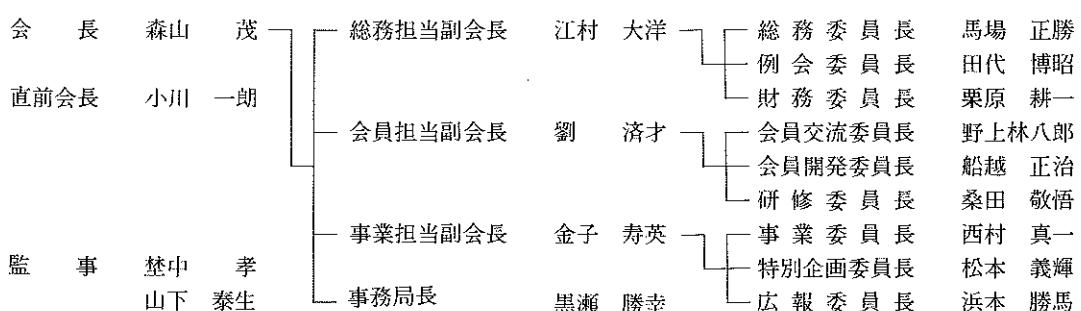


6日前夜祭



おくんちパーク

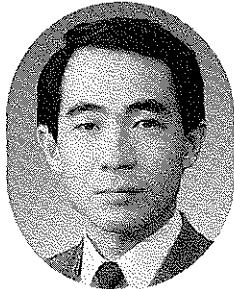
### 役員組織表



# 第20年度

昭和63年(1988年)

会員数 107名



会長 江村 大洋

(社)長崎青年協会20周年目という大きな節目を担当する事になり、私なりに大変な責任の重さを背負ってスタート致しました。まず私は、「会員の団結と情熱をもって新しい歴史を創造しよう」をスローガンに19年間の協会の歴史を振り返りながら、現在の私達の置かれている立場を良く認識する事から、20年度以降の協会の進むべき道を見い出そうと考えました。その中で本年のメイン事業である20周年記念式典を成功させる事はもとより、二大事業である「みんなで盛りあげよう長崎くんち」「みんなで築こうきれいな長崎」の協会オリジナル事業を中心、我々の持ち味である色々な制約にとらわれない自由な発想と、一度決めたらとことんやり抜くすばらしい行動力を基本に、最近特に増えてきた行政や他団体との協力事業に積極的に取組む事で、地域社会のニーズに貢献していく事が新しい方向性ではと考え、大変忙しい一年になる事を覚悟して事業計画を作成致しました。本年最初の対外事業となった「留学生の集い」は、会員の協会活動の中に国際交流という新しい機会を提供する事ができ、これからも根強い流れとなっていく事でしょう。又、「海のフェスティバル」「サマーフェスタ」への参加は、我々の今後の活動に大変プラスになる他団体や報道関係との強力な絆をつくる事が出来ました。この経験は協会の大きな財産となるものと確信致します。しかしながら中盤のメイン事業であったおくんち事業が天皇陛下のご病状を考慮して中止となった事や、その影響で年度末に多くの事業が集中する結果になった事は私としても心残りとなってしまいました。(社)長崎青年協会が20周年を契機に、さらに発展する事を期待致します。



4月 定時総会



7月 新人研修

## スローガン

# 会員の団結と情熱をもって新しい歴史を創造しよう



7月 留学生の集い



7月 海のフェスティバル



8月 サマーフェスタ長崎

11月 文化財清掃（高島秋帆旧宅）



11月 ソフトボール大会

11月 教育委員会より表彰



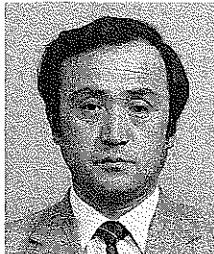
12月 もちつき大会



12月 忘年懇親会

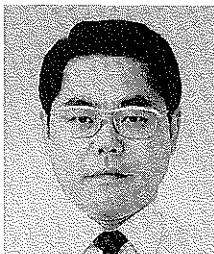
# ♪ 20周年記念特別対談 ♪

## 出席者名



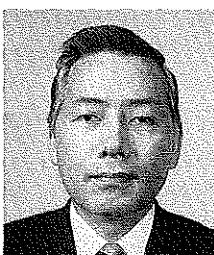
三浦 勝太 氏

第2・10年度 会長  
(S45) (S53)



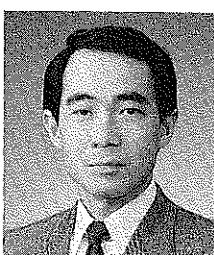
平野 晴一 氏

第7年度 会長  
(S50)



久保 征幸 氏

第4年度 会長  
(S47)



江村 大洋 氏

第20年度 会長  
(S63)

昭和63年7月26日  
銀嶺にて

## ◆最初は長崎国体に寄与しました

江村 本日はお忙しい中、先輩方にお集まりいただきまして発足当時から今日まで20年の青年協会の歩みという形で苦労話等お話しいただきたいと思います。

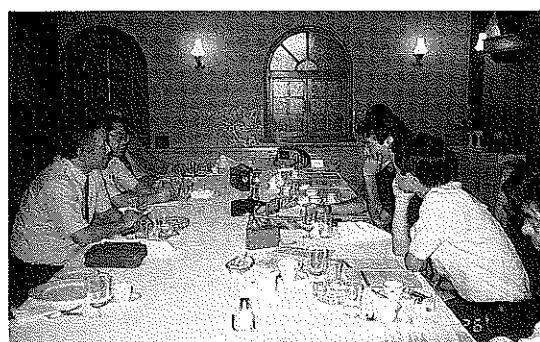
久保 発足当時は会員が21名ぐらいで、たしか入会金1,000円、会費1,000円ぐらいだったと思います。よく喫茶ウミノの会議室等で講師を呼んでやってました。

平野 ニュー長崎で例会をしだしたのは2年目ぐらいからでしたかねえ。

久保 発足時、やろうと決めた時には皆20才代前半のメンバーだったんですが、連日集まって会の名称や憲章を考えたり、どうやって運営していくか、会則を作ったり、スタート時点ではある程度のものは出来上がっていたと思います。その点ではよくやったと自慢に思っていますよ。

江村 最初にされた事業にはどういうものがありますか。

平野 長崎国体の時に次期国体開催県の岩手県役員団に乗用車の無料提供をした事です。あの時は会員の持っている車でホテルまで送



ったり、ホテルから会場まで送ったり、やはり郷土で行われている国体を何とか成功させようと、一生懸命でした。お陰様で岩手の新聞に大きく報道されたり、感謝状とリンゴが送って来たり大変よろこばれました。

### ◆会長選挙は激戦でした。

江村 2年目に、ボリショイサーカスに施設の子供達を呼んでいますが、その資金などはどうされたのですか？

久保 納涼船の収益とか何か事前に収益事業をやったと思うんですよ。会費だけではとても出来ませんからね。

平野 2年目の1番の思い出は会長選挙ですよ、最終的には三浦勝太さんが会長になったんですが、最初は永島正道さんと同点で再選挙をやった結果、1票差で決定したんです。

久保 そのくらい青年協会の会長には魅力があったんですよ。選挙参謀が居てワイロをつかましたんじやないかと、根回しがすんでいたとか……（全員笑う）

まあそんな事はなかったですがそのくらい熱心で、演説なんか大変でした。

### ◆文化財清掃は1日がかりでした。

久保 年1回の文化財清掃は大変でしたね。

平野 高島秋帆の墓地などはとにかく雑草が背丈より高くて、どこに墓があるのかわからぬくらいで、おまけに敷地が広くて、でも今はきれいになっていますね。

久保 そう今は2時間ぐらいで終わるけど、その時は1日がかりでした。暑いさかりでね。

平野 その資料をもらいに市と県の文化課に



行きましたよ。その時は市も県も大変協力的でした。

江村 今日では文化財清掃は11月の文化の日に行なって、その後ソフトボールをしていますが、その頃はしていなかったのですか。

平野 その頃は掃除が1日がかりで、ソフトボールなんてとても出来ませんでした。おまけに道具を市が貸してくれる事も知らなかつたですから、先ず道具を集める事から大変でした。

久保 そういうふうに大変な事業もありましたけど親睦会もよくやりました。ハタ揚げとか、家族親睦会とか、若い者の交流会とか、海水浴にも行ったりし、しかしソフトボールはあまりしませんでしたね。

### ◆真面目派と遊び派がいました。

江村 ところで正式の事務局はいつ頃から出来たんですか。

三浦 事務局はずっと後で、最初の頃は会長宅が事務局でした。だから毎年事務局が変わるものだから資料があまり残っていないわけですよ。

久保 3年目の永島さんの時にはきちんと整理されてましたね。当時は真面目派と遊び派と別れてましたから。

江村 今もそうですよ。

久保 永島さん達は超真面目というくらいで。平野さんとかね。我々は例会が終ったらすぐマージャンをしてました。

江村 今は例会の後は懇親会場をセットしていますからそういう事はない様です。

### ◆強引きも大事です。

江村 出席率についてはいかがでしょうか。

三浦 会社が忙しいとか仕事が忙しいとかいう事は、最初から聞いていなかったですね。明日忙しいから来れないという人にはずっと来なくていいよと言ってました。そんな感じの応対が多かったから否応なしですよ。

久保 やっぱり強引きというか、親分という感じですね。三浦さんが言われる様に「雑草」でなければいけない。たたかれても失敗してもそれはその日限りの事で、翌日は芽が開いて立ち直るんだという気持ち。自分で行動するからそういう事（強引き）をしても人がついて来る。何もしないで人に命令してもダメです。やはり遊ぶ時も徹底して遊ぶ、行動する時は行動する。こんな感じでしたね。だから失敗はしょっちゅうですよ。「失敗は成功のもと」だという構えがありました。それとよく議論しましたね。委員会がない時はケン



カばっかりですよ。私はみんな先輩相手ばかりでしたが。（笑い）無鉄砲というかやれば出来るという感じでやってきました。若い者の特権で失敗してもいいんですよ。若者らしい活動を今からもしていかなければいけないし、誰でも出来る事業を企画しても地域社会のためにあまりならないと思います。今、会員で20才代の人がいかに魅力のある会として引っ張っていくか、それはやはり企画力と実行力だと思います。20才代で役員になってリーダーシップをとって将来のためになるような人材が必要だと思います。

### ◆イベント後のサウナが最高でした。

江村 13年目に「みんなでもりあげよう長崎くんち」というのが始まった訳ですね。

三浦 おくんちは私達が子供の頃には「お化け屋敷」とか「見せ物小屋」とかあったんですが、その頃はそういうのは全々なかったし、昔のくんちの雰囲気をなんとか再現しようとすることで先ずインド魔術団にとりくんでやった訳ですね。これもやっぱり相当の時間とお金がかかりました。

久保 これも当初私は反対でした。こんな事出来るかという感じでしたがやれば出来る！やろうじゃないか!!という事で行いました。その結果3日間大変でしたが、それでも全員が前売りしたので大成功でした。

三浦 その時は市民会館でしたが、井川君が会長で、満員の観客の前で堂々とあいさつをしていました。本人はあがっていたと言ってましたけど……。

久保 委員会で券の販売の競争をしていました。そういう事が委員会のまとまりになるん

ですよね。このイベントが終わって、みんなでサウナに行って疲れをいやして感激もひとしおでした。これが今の「みんなでもりあげよう長崎くんち」につながっていると思います。

**三浦** 57年度でチャーターメンバーは久保さんを残して全員卒業しました。

**久保** 私は副会長の役職が1番多かったのではないか。最初の頃のメンバーは何度も副会長をしているんですよ。みんながいつも理事という感じでした。会長の後に副会長をしたりしていました。

### ◆委員会を大事にしよう！

**江村** 今後の青年協会に対して思っている事がありますか。

**久保** 我々が青年協会の歴史の中で、色々な人達と行動を共にしてきた事は本当に支えになりました。“親睦”だけだったら続かなかつたと思います。その年々の事業に若い青春をたぎらせてぶつかって来た事が今につながっていると思います。口では誰でも言えるんですよ。なかなか行動に移せない。今、女性や子供が強くなっている時代に男が強くなるという意識を持つために社会活動、青年活動があると思います。この事が職場においてのリーダーシップにつながるし、家庭でも威儀をもつおやじになれるし、それが大事だと思います。青年協会の盤石の土台が出来ると思います。

**三浦** 自分の心の支えは「アンチJC」1本でした。当時JCの理事長さんとかよくお会いしましたが、すばらしい人ばかりでしたから、今においつけ！おいこせ!!という気持でが

んばってきました。ただ気になる事は今の会員はスマートになり過ぎて、スケールが小さくなつたという気がします。雑草の様なたくましさがなくなつてきている様な気がします。

**平野** 先ず事業にしろ参加する事ですね。久保君も言う様に「言うは易い」けど、やはり行動する事が大事です。参加してはじめてそこから何かをつかむ。又、何かを見つけてだせないといけない。そうしないとこういう団体は大きくなれないのではないかと思います。それと委員会の中で委員長がいかにリーダーシップをとれるかということですね。委員長によって委員会が変わってくるし、又、委員長は勉強しなくてはいけないし、委員長は会員の参加を呼びかけ、そして自分の委員会を把握しなければいけないと思います。会員は入会したからには少なくとも1年はしんぼうしてもらいたいですね。それに自分の意見をしっかり言える様になればいいと思います。

**三浦** 会長はある程度の強引さが必要だと思います。決まるまでは意見を聞いて、決まったら会員を引っ張ってほしいし、又、会員も決まったらとえ不満でも協力して、大いに社会に対して貢献していただきたいと思います。

**江村** 先輩方の貴重な体験をお聞きして今後の青年協会に大変参考になったと思います。本日はどうもありがとうございました。



# 同好会紹介

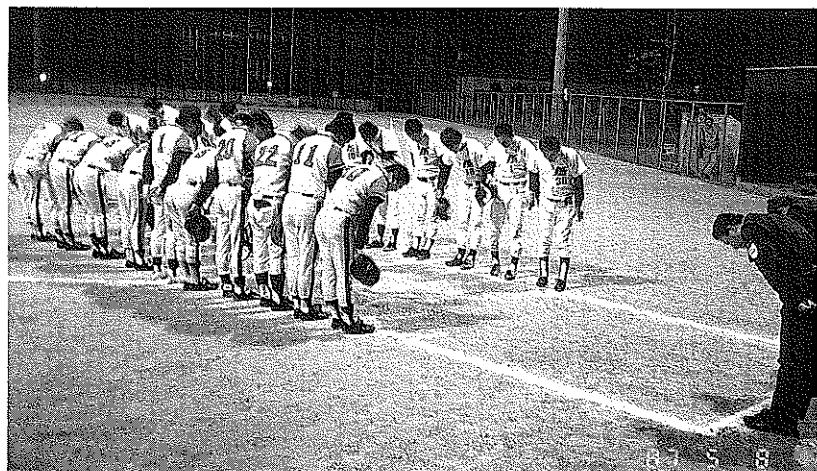
## ソフトボール同好会

### ●緻密なソフトボールで、まずは1回戦突破を！

数々の名選手を生み出した青年協会ソフトボール同好会も、近年やや低迷している。

ナイターソフトでは、昨年、今年とそれまでに体験したことのない1回戦敗退という屈辱を味わった。全盛をきわめた頃のメンバーもO Bとなられたり、体力の限界を感じ引退表明をされたりと、協会設立20年の歩みの中で同好会も世代交代の時期を迎えたようだ。年々若手の加入により選手層も厚くなってきた。

2年続けてくやし涙をこらえながらも、なぜか盛り上がった残念会。祝勝会を目指し1回でも多くの練習を積み、全員一丸となって1回戦突破をねらう。



## ゴルフ同好会

私達ゴルフ同好会が現在も、この様な活発な活動ができるのも、この会を結成された諸先輩方の努力の賜物と、会員一同、感謝の念にたえません。現在、会員数60数余名が入会しておりますが、なかなか日時や仕事上の都合などで参加していただく事ができず、20数名のコンペを年7回程開催しております。ゴルフを通じて、現会員とOBとの親睦交流を図り、その中から今迄に数々のエピソードが生まれてきました。珍プレーに爆笑し、好プレーに拍手喝采し、「ところで腕前は?」と聞かれても、それこそピンからキリまで、プロ級の腕前の人あり、初めてクラブを握り、コースに出る人ありとそれぞれです。スコアーはともかくとしてラウンド終了後にOBも会員もわいわいがやがやとクラブハウスの風呂に入るのも、また、ひとつの親睦として楽しいものです。

例年6月に行っている「厄入りコンペ」では、卒業を間近にされ残り少ない現役としてのプレーを、それぞれの思いを胸に、又、年度末に行う歴代会長杯の取り切り戦では各回の優勝者の激しい争奪戦が繰りひろげられます。

ともあれ、ゴルフを通じて日頃交流の少なくなったOBとの会話がもたれ、又、現会員同士の交流も盛んに行われています。



## 麻雀同好会

麻雀同好会は、今年で足かけ10年になります。第1回の麻雀同好会の大会は昭和54年3月11日、出来大工町「幾久屋」にて協会員20名出席で行われました。年2回程度麻雀大会を開催しており、大会の時は麻雀の魅力に取り憑かれた自称「雀鬼」達が大集合し、全員が自分の優勝を口々に叫んでいるものの実際には五十歩百歩といったところです。口三味線が流れる中、一発逆転の役満を狙ったり、時折りチョンボなどをしたりして和気藹々としたムードの中で行われます。それでも優勝のかかった最後の半荘は、トップグループから脱落したメンバーのしらけた視線を横目に全員真剣に打っています。そして決戦が終了した時、優勝者は満身に笑みをたたえ、敗者は捲土重来と口びるをかみしめています。こうやって有意義な(無駄な?)時間を全員で過ごし、今後も活発な活動をしていきたいと思います。



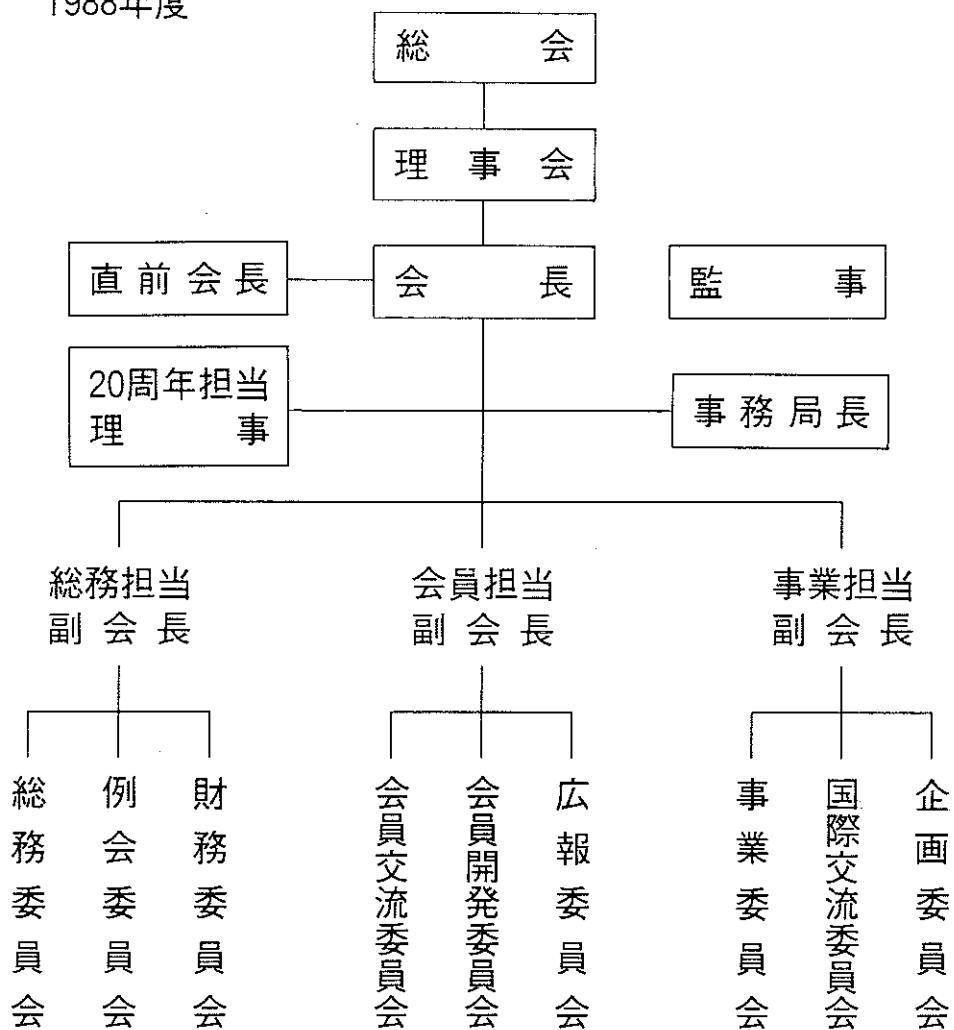
# 会員名簿

107名

1989年2月現在

## 組織表

1988年度



# 役 員



会長

**江村大洋**

S.24. 9.28

西部石油㈱

☎ 23-0178

〒850 長崎市新地町5-15



**森山茂**

S.23. 7.5

(有)森山酒店

☎ 22-0892

〒850 長崎市築町3-8



総務担当副会長

**馬場正勝**

S.24.12.1

富士ビジネスセンター㈱

☎ 62-1780

〒852 長崎市梁川町7-25



**金子寿英**

S.23. 7.22

大正海上(株) 代理店 TIA

☎ 25-3122

〒850 長崎市五島町3-25  
松藤ビル2F



会員担当副会長

**田代博昭**

S.28. 2.1

(有)タシロ

☎ 22-0816

〒850 長崎市銅座町7-8



**黒瀬勝幸**

S.23. 4.12

黒瀬蒲鉾店

☎ 22-8643

〒850 長崎市賀町3-8



事業担当副会長

**劉済才**

S.28. 7.5

京華園

☎ 21-1507

〒850 長崎市新地町9-7



**松本義輝**

S.23. 4.15

電化ショップ松電

☎ 82-0266

〒851-21 西彼杵郡時津町  
浜田郷696-4



**野上林八郎**

S.24.11.8

(有)丸野組運輸部

☎ 39-2131

〒851-01 長崎市田中町587-5



**金城千鶴**

S.32. 4.21

## 総務委員会



委員長

**岡崎 武彦**

S.27.10.18

(有)駿前製麺所

☎ 22-1545

〒850 長崎市大黒町8-11



**棚尾 敏郎**

S.26.6.16

ラインズ & スペイセス

☎ 21-9539

〒850 長崎市鍛冶屋町6-23  
グリーンビル2F



副委員長

**渡部 芳信**

S.32.12.31

(株)ニクヨシ

☎ 39-9018

〒851-01 長崎市松原町2469



**渡辺 淳一**

S.37.12.2

浜崎水産(株)

☎ 61-9131

〒852 長崎市旭町8-13



**杉本 善郎**

S.23.7.30

日立化成工業(株) 長崎出張所

☎ 45-1762

〒852 長崎市昭和町8-21



**沖迫 司**

S.36.5.16

長崎信用金庫 新大工町支店

☎ 26-6341

〒850 長崎市新大工町6-23



**海野 博**

S.23.7.10

(有)海野清掃産業

☎ 26-4745

〒851-02 長崎市田上町429-2



**吉田 忠和**

S.34.11.4

三井生命保険相互会社

☎ 25-9379

〒850 長崎市万才町6-35



**中谷 寛**

S.28.6.15

(株)岡部商店

☎ 26-8241

〒850 長崎市築町1-5



**龍 喜一郎**

S.34.10.14

龍紙材(有)

☎ 83-2226

〒859-06 西彼杵郡長与町  
高田郷1419-1



**永田 嘉晴**

S.26.10.7

(有)矢の平総設

☎ 23-4200

〒850 長崎市矢の平  
2丁目13-11



**和田 正信**

S.35.8.27

ワールドツアーリー(株)

☎ 25-2566

〒850 長崎市幸町4-2  
北野ビル9F

## 例会委員会



委員長

**浜本勝馬**

S.27.10.26

不動技研工業(株)

☎ 61-7414

〒850 長崎市飽ノ浦町5-7  
菱興ビル別館3F



**濱口康幸**

S.23.5.27

株トータル・システム

☎ 47-8282

〒852 長崎市小峰町1-14  
あこやビル106号



副委員長

**城谷富好**

S.34.9.28

(有)ジュエリー サロンフローレス  
☎ 22-4749  
〒850 長崎市万屋町5-23



**中尾義文**

S.33.4.6

千代田コンピューターサービス株  
☎ 25-4977  
〒850 長崎市万才町7-1  
住友生命ビル12F



**竹中悟**

S.24.9.6

ワールドツアーリー(株)

☎ 25-2566

〒850 長崎市幸町4-2  
北野ビル9F



**池本成夫**

S.30.9.24

ホテルニュー長崎

☎ 28-7217

〒850 長崎市大黒町14-5



**白浜政文**

S.26.2.13

(有)白浜商会

☎ 61-2828

〒850 長崎市弁天町1-2



**山形浩介**

S.39.4.11

長崎大学歯学部病院

☎ 47-2111、内4512

〒852 長崎市坂本町7-1



**三根雄次郎**

S.28.7.1

三根動物病院

☎ 27-3854

〒850 長崎市愛宕町3丁目  
15-17



**平田雄一**

S.36.3.3

電化ショップ 松電

☎ 82-0266

〒851-21 西彼杵郡時津町  
浜田郷696-4



**川原哲也**

S.33.2.15

(有)ダスキン住吉

☎ 57-5535

〒852 長崎市滑石5丁目13-19



**山口純治**

S.25.7.3

英設計

☎ 27-4063

〒850 長崎市矢ノ平4丁目  
12-14

## 財務委員会



委員長

新井正実

S.31. 9.28

新井建築設計

☎ 62-0900

〒852 長崎市竹の久保町9-23



林田秀夫

S.35. 2.16

林田電化サービス

☎ 26-2029

〒850 長崎市八ツ尾町2-10



副委員長

山本郁雄

S.26.10.19

平安社

☎ 61-4949

〒852 長崎市光町16-18



振角宗広

S.36. 2.23

有振角建工

☎ 65-2835

〒850 長崎市小瀬戸町  
1009-16



江島寿明

S.24. 6. 7

スナック景

☎ 21-9883

〒850 長崎市銅座町9-8



松本直行

S.23. 5. 7

(株)三京フーズ

☎ 50-0105

〒851-22 長崎市三京町1826



合六忠

S.29. 8.20

(株)三京フーズ

☎ 50-0105

〒851-22 長崎市三京町1826



山口丈司

S.32. 8.31

塩飽志郎法律事務所

☎ 24-2333

〒850 長崎市万才町6-11



松本貞臣

S.28. 5. 7

日本視力回復センター

☎ 22-4646

〒850 長崎市銅座町4-19  
村川ビル4F

# 会員交流委員会



委員長

## 栗原耕一

S.25.8.3

(株)北高電機

☎ 44-1583

〒852 長崎市大橋町6-15



## 小暮聰

S.27.12.16

(有)エンタープライズ・ミナト

☎ 39-6547

〒851-01 長崎市平間町1309-10



副委員長

## 江頭保信

S.35.7.13

レストラン スナック  
ひまわり サファリ

☎ 49-0412 ☎ 25-0737

〒852 長崎市  
茂里町3-1 銅座町13-11



## 大門政幸

S.27.12.4

(株)平安閣

☎ 24-3390

〒850 長崎市元船町2-4



## 熊澤悟

S.26.10.14

(有)熊澤商事

☎ 78-0700

〒850 長崎市上戸町220-1



## 崎戸雄二

S.39.12.24

オートプロダクトショップ フリー

☎ 82-1581

〒851-21 西彼杵郡時津町  
元村郷913-8



## 北川裕継

S.26.5.8

OKボディ整備工場

☎ 44-3141

〒852 長崎市大橋町14-16



## 林田英明

S.26.8.10

ラウンジ キャビン

☎ 47-9556

〒852 長崎市浜口町7-4



## 桂孝道

S.26.2.23

桂石材

☎ 56-4094

〒859-06 西彼杵郡長与町  
高田郷425-3



## 春田芳宏

S.37.1.12

(有)あぜくら商事

☎ 57-3927

〒852 長崎市滑石5丁目1-53

# 会員開発委員会



委員長

森 保 博

S.29. 1.23

大進建設株住宅事業部

☎ 21-0717

〒850 長崎市樺島町1-16



伊藤克樹

S.35.12.29

東京海上火災保険株長崎保険センター

☎ 27-0007

〒850 長崎市古川町4-8



副委員長

平山英則

S.33. 7.24

昭英印刷(有)

☎ 44-0231

〒852 長崎市坂本町10-25



福島聰

S.30. 9.17

つりがね堂薬局

☎ 23-1649

〒850 長崎市新地町11-11



福田穂積

S.24.12. 7

矢太樓

☎ 22-8166

〒850 長崎市風頭町2-1



一ノ瀬敦朗

S.38. 3. 4

ラ・ピエス

☎ 22-7710

〒850 長崎市銅座町13-13



張仁春

S.31. 2. 5

(有)ニシキ設計

☎ 22-1935

〒850 長崎市新地町12-7

フォート錦昌号ビル3F



高稻裕

S.29. 8.31

稻栄産業(株)

☎ 49-1331

〒852 長崎市千歳町6-17



金田芳裕

S.30. 4. 8

金田製作所

☎ 23-5520

〒850 長崎市銅座町10-3



新ヶ江憲和

S.32. 2. 8

(有)銀鍋

☎ 21-8213

〒850 長崎市銅座町7-11



田川清浩

S.37. 6.22

レストラン メイジヤ

☎ 27-1129

〒850 長崎市浜町3-18



塩田和海

S.26. 1. 8

シオタ建設(株)

☎ 49-3830

〒852 長崎市昭和町6-32

# 広報委員会



委員長

岩 満 克 弥

S.34. 8. 3

宝栄印刷

☎ 61-8388

〒852 長崎市宝栄町13-2



猿 渡 卓

S.35. 5. 9

むつみ文具

☎ 44-7532

〒852 長崎市小峰町1-3



副委員長

中 島 秀 一

S.35. 3. 30

中島写真館

☎ 27-1929

〒850 長崎市上小島2丁目  
13-21 パレスアーバン205



田 川 俊 幸

S.35. 9. 24

(有)明治屋商店

☎ 22-0359

〒850 長崎市上町2-7



黄 醒 博

S.27. 3. 9

中華菜館 福寿

☎ 21-3032

〒850 長崎市新地町2-5



岩 崎 直 哉

S.28. 2. 20

Traffic

☎ 22-5011

〒850 長崎市諫訪町4-19



中 村 善 人

S.30. 1. 1

長崎ダイハツ販売株

☎ 37-0100

〒851-01 長崎市田中町  
1027-35



湯 藤 正 典

S.35. 5. 24

(有)湯藤鉢店

☎ 21-3554

〒850 長崎市栄町4-16



松 尾 秀 二

S.27.10. 8

秀栄社

☎ 21-3604

〒850 長崎市興善町4-18



山 下 啓 一

S.29. 7. 1

宮城外科医院

☎ 27-3333

〒850 長崎市築町3-1



大 平 和 男

S.27. 6. 18

(有)大平電興社

☎ 21-3043

〒850 長崎市西琴平町3-28

## 事業委員会



委員長

桑田 敬悟

S.29. 6.22

建築リフォーム リック

☎ 44-6150

〒852 長崎市三川町1221-24



福田 増幸

S.40. 7.31

福田工作所

☎ 61-3403

〒852 長崎市旭町8-8



副委員長

大塚 一広

S.33. 1. 1

諸熊医院

☎ 27-6114

〒850 長崎市浜町4-20



川原 守

S.38. 1. 9

川原菓子舗

☎ 83-2128

〒859-06 西彼杵郡長与町  
吉無田郷266



木藤 俊郎

S.25.10.13

ライン設計事務所

☎ 45-6469

〒852 長崎市扇町3-22



松尾 浩

S.35. 5. 20

(株)宮本建築設計事務所

☎ 45-0939

〒852 長崎市扇町31-8



田中 裕人

S.35.10.15

ミチヒロ食品(有)

☎ 49-3722

〒852 長崎市上野町8-12



開義人

S.34. 4. 11

(有)ハウス流通サービス

☎ 57-4477

〒852 長崎市葉山町362-8



平尾 武次

S.25.10.21

(有)平尾段ボール

☎ 38-2063

〒851-01 長崎市矢上町724-1



西村 健

S.28. 7. 17

(有)ミントデザイン事務所

☎ 23-3398

〒850 長崎市鍛冶屋町6-18  
岸川ビル2F



船津 信三郎

S.29. 8. 5

船津蒲鉾(有)

☎ 22-4588

〒850 長崎市万才町3-32

# 国際交流委員会



委員長

西村 真一

S.27. 8.27

(有)西村真珠

☎ 22-3231

〒850 長崎市伊勢町3-2  
あこやビル



溝口 章彦

S.40 10.19

初天城

☎ 22-2866

〒850 長崎市風頭町9-5



副委員長

池田 郁志

S.35.10. 6

ビジネス観光ホテルいけだ

☎ 24-3577

〒850 長崎市五島町6-23



佐々木 隆夫

S.28. 7.10

鳳屋

☎ 23-1928

〒850 長崎市風頭町11-2



田川 孝之

S.27. 4.17

花市フラワー・ノーサイド

☎ 27-1843

〒850 長崎市上小島4丁目9-2



高橋 誠勇

S.27. 3. 5

長崎宝屋玩具

☎ 22-4890

〒850 長崎市江戸町4-8



沼里 勉

S.29. 3.17

株トーアユニホーム

☎ 24-1626

〒850 長崎市中町5-5



井原伸二

S.34.11.30

九州日立化成住機(株)長崎営業所

☎ 49-4430

〒852 長崎市昭和町8-21



岡村 一憲

S.28.10.22

(有)とり専

☎ 39-0002

〒851-01 長崎市平間町691

# 企画委員会



委員長

**船越正治**  
S.28.3.4  
(有)三船設備商会  
☎ 25-3822  
〒850 長崎市八幡町4-6



**川口要治**  
S.36.2.27  
(有)海部商会  
☎ 44-2841  
〒852 長崎市錢座町7-17



副委員長

**渡辺秀孝**  
S.30.12.9  
渡辺商事(有)  
☎ 22-2492  
〒850 長崎市賑町5-9



**中川進吾**  
S.27.5.27  
川島産業株  
☎ 21-7381  
〒850 長崎市勝山町6



**鳥井正臣**  
S.24.7.27  
(株)藤岡石油店  
☎ 22-2211  
〒850 長崎市元船町13-5  
安田生命ビル3F



**松尾好人**  
S.32.12.23  
松尾保険企画  
☎ 46-4848  
〒852 長崎市本原町35-15



**布施健一**  
S.24.2.20  
第一生命保険相互会社  
☎ 28-2069  
〒850 長崎市興善町2-22



**吉田啓二**  
S.30.7.1  
ヤマト洗管サービス  
☎ 21-9644  
〒850 長崎市中町5-18  
提ビル2F



**木下政幸**  
S.38.11.13  
(株)木下商店  
☎ 22-2465  
〒850 長崎市銅座町3-24



**松島孝之**  
S.31.3.11  
前田(株)  
☎ 37-8222  
〒851-01 長崎市田中町1264  
卸センター



**岩下恭一**  
S.35.8.8  
(有)岩下不動産  
☎ 48-5118  
〒852 長崎市松山町3-71



**大橋強**  
S.36.2.5  
熊本銀行長崎支店  
☎ 22-1274  
〒850 長崎市賑町7-12

# 卒業者名簿

37名

1989年2月現在



**浅田五郎**

S.12. 9.12  
県議会議員  
☎ 21-2706  
〒850 長崎市江戸町5-8  
浅田五郎事務所  
S.52卒



**池本敏典**

S.17. 2.25  
池本敏典事務所  
☎ 25-9901  
〒850 長崎市元船町6-6  
松尾ビル  
S.57卒



**三浦正貴**

S.15. 8.12  
長崎大学附属病院放射線部  
☎ 47-2111 (内3477)  
〒852 長崎市坂本町7-1  
S.55卒



**浜崎昭**

S.17. 3.18  
浜崎水産(株)  
☎ 61-9131  
〒852 長崎市旭町8-13  
S.57卒



**高比良利満**

S.15.10. 4  
高比良硝子  
☎ 27-4764  
〒852 長崎市上小島1-12-3  
S.55卒



**平野晴一**

S.17. 7.22  
京染呉服平野屋  
☎ 23-0827  
〒850 長崎市古川町8-16  
S.57卒



**渡部宗一**

S.16. 5.23  
事務機のワタナベ  
☎ 56-4523  
〒852 長崎市滑石3丁目2-12  
S.56卒



**飛永亮三**

S.17. 8.29  
宗教法人 田上寺  
☎ 23-5488  
〒851-02 長崎市田上町363  
S.57卒



**的野和男**

S.16.10.10  
海星高校教諭  
☎ 26-7321  
〒850 長崎市東山手町5-3  
S.56卒



**鳥居直記**

S.17.10.25  
(株)昭和地建  
☎ 21-4510  
〒850 長崎市炉粕町25  
S.57卒



**野村和夫**

S.17. 1. 2  
カネマツ緑化建設  
☎ 25-0346  
〒850 長崎市出島町10-15  
S.57卒



**金子卓司**

S.18. 1. 1  
後藤貨物自動車(株)  
☎ 78-9331  
〒850 長崎市小ヶ倉町3-76  
S.58卒



**三浦勝太**

S.17. 1.15  
(株)昭和地建  
☎ 21-4510  
〒850 長崎市炉粕町25  
S.57卒



**石長勝久**

S.18.12.27  
石長産業  
☎ 57-1110  
〒852 長崎市滑石2丁目  
14-5 打坂ビル  
S.58卒



**金子原二郎**

S.19. 5. 8  
衆議院議員  
**☎** 0956-23-5151  
〒857 佐世保市下京町9—1  
金子原二郎事務所  
S.59卒



**吉野信義**

S.20. 5.26  
不動技研工業(株)三原出張所  
**☎** 0848-63-4311  
〒729-03 広島県三原市券町  
1丁目100—11 駒鳥電気ビル2F  
S.60卒



**佐藤哲康**

S.19. 7. 1  
佐藤設計事務所  
**☎** 47-3919  
〒852 長崎市若葉町14—12  
S.59卒



**太田勝良**

S.20. 8. 1  
太田酒店  
**☎** 22-3403  
〒850 長崎市鍛冶屋町6—3  
S.60卒



**大石巖**

S.20. 1.18  
大石商事(有)  
**☎** 22-3820  
〒850 長崎市伊勢町3—10  
S.60卒



**三浦清博**

S.21. 3.16  
昭和住宅  
**☎** 23-8777  
〒851-02 長崎市田上町134  
S.60卒



**楠原弘光**

S.20. 1.28  
(有)井口建具アルミ店  
**☎** 47-3003  
〒852 長崎市松山町4—51  
S.60卒



**勝本博文**

S.21. 4. 3  
百武製麺所  
**☎** 23-2693  
〒850 長崎市籠町5—15  
S.61卒



**中尾英徳**

S.20. 2. 7  
親和ボディー鍍金塗装工場  
**☎** 78-7911  
〒850 長崎市竿の浦350  
S.60卒



**川口光徳**

S.21. 7.18  
阿蘇産業(株)  
**☎** 46-4111  
〒852 長崎市大橋町5—9  
S.61卒



**久保征幸**

S.20. 3.24  
(有)久保健材店  
**☎** 61-8853  
〒850 長崎市飽ノ浦町1—54  
S.60卒



**川添吾郎**

S.21. 9.17  
(株)園池商店  
**☎** 25-0137  
〒850 長崎市五島町5—39  
S.61卒



**津田勝行**

S.20. 4.25  
日本海洋高速(株)  
**☎** 22-7704  
〒850 長崎市新地町3—17  
長崎自動車(株)内  
S.60卒



**徳本知行**

S.22. 1.30  
長崎三菱ふそう自動車販売(株)  
**☎** 45-2111  
〒852 長崎市茂里町1—75  
S.61卒



徳本知弘

S.22. 1.30  
長崎マリンサービス株  
☎ 092-622-0085  
〒813 福岡市東区多の津  
2丁目7-9  
S.61卒



松尾豊明

S.22. 9.30  
㈱アルス  
☎ 45-7178  
〒852 長崎市松山町3-77  
S.62卒



椎木亮一

S.22. 3.2  
(有)平山商会  
☎ 62-7844  
〒852 長崎市富士見町5-12  
S.61卒



山下泰生

S.23. 1.4  
㈲山徳興産  
☎ 22-4397  
〒850 長崎市大浦町8-38  
S.62卒



小川一朗

S.22. 5.17  
ファースト興商  
☎ 23-7156  
〒850 長崎市興善町3-5  
S.62卒



楢中孝

S.22. 6.13  
のなか石材  
☎ 24-6571  
〒850 長崎市麴屋町5-25  
S.62卒



井川憲太郎

S.22. 7.11  
井川硝子建材株  
☎ 25-2523  
〒850 長崎市今博多町38  
S.62卒



久保龍虎

S.22. 8.2  
(有)久保建材店  
☎ 61-8853  
〒850 長崎市飽ノ浦町1-54  
S.62卒



松尾浩

S.22. 8.27  
松尾宝飾店  
☎ 44-2047  
〒852 長崎市千歳町3-6  
S.62卒

# 設立発起人紹介

(五十音順)



ウォーカーデニス氏

住所 12309 OBRAD DR  
SARATOGA CALIFORNIA  
95070 U.S.A.  
☎ (408) 996-7448



原口 貞敏氏

勤務先 有限会社 オリンポス  
福岡市博多区  
神屋町 6-15  
☎ 092 (272) 0206  
現住所 福岡県春日市  
桜ヶ丘 5-26  
武末コーポ303号  
☎ 092 (573) 3421



小野喜三郎氏

勤務先 株式会社 丸菱商会  
☎ (23) 3183  
長崎市小曾根町 5-16  
現住所 同 上  
☎ (27) 7007



三浦 勝太氏

勤務先 株式会社 昭和地建  
☎ (21) 4510  
長崎市炉柏町25  
現住所 長崎市田手原町  
499-3  
☎ (21) 0558



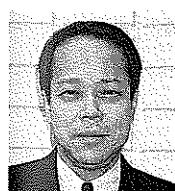
久保 征幸氏

勤務先 有限会社 久保建材店  
☎ (61) 8853  
長崎市飽の浦町 1-54  
現住所 長崎市秋月町 295-16  
☎ (62) 0024



山下新太郎氏

勤務先 喜々津カントリー  
俱楽部  
☎ 0957 (43) 0223  
西彼杵郡布1656-1  
現住所 長崎市上町 6-16  
☎ (24) 2222



野村 和夫氏

勤務先 カネマツ緑化建設  
株式会社  
☎ (25) 0346  
長崎市出島町 10-15  
現住所 長崎市魚の町  
1-23-504  
☎ (26) 2420

社団  
法人 長崎青年協会の歌

作詞：小川一朗

作曲：松尾藤美

文化豊しい この郷を  
日夜まぶしく みがけしは  
我等が宿命 青年の  
明日の故郷を 守るため  
ああ長崎青年協会

永遠に不滅の 憲章を  
掲げて今日も 益荒男は  
たま 瓢の浦より こぎいでん  
明日の故郷を 創るため  
ああ長崎青年協会

熱血沸いて も元たぎる  
我青雲の こころざし  
愛と真理の この胸は  
明日の故郷を 繕く夢  
ああ長崎青年協会

# あとがき

現在の青年協会は設立時のメンバーが卒業され、若い会員が多くなり、協会の歴史を知る人も少なくなつてまいりました。ここに20周年記念誌を編集するにあたり、その歴史と伝統をふり返り、会員にも理解して頂きたく、今回の発刊となりました。

編集するに当たっては、資料不足、かつ、忙しい中をぬつての作業となり、必ずしも満足のいく出来ばえではなかつたかと思います。しかし、委員会一同この作業にたずさわる事の出来た喜びを感じております。

これも一重に皆様方の御支援と御協力のおかげだと感謝致しております。

そしてこの記念誌が今後の協会活動のお役に立つことを祈つてやみません。

## 20周年記念誌編集委員会

委員長 岡崎 武彦

副委員長 渡部 芳信

委員 杉本 善郎

海野 博

中谷 寛

永田 嘉晴

和田 正信

椋尾 敏郎

渡辺 淳一

沖 迫 司

吉田 忠和

龍 喜一郎

発行者 社団法人 長崎青年協会

会長 江村 大洋

監修 総務担当副会長

馬場 正勝

発行日 平成元年3月2日

表紙デザイン Traffic

岩崎 直哉

印刷 昭英印刷(有)